



## THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



# 三 重 県 歯 科 医 師 会 報



### ◆平成28年度第2回学術研修会

「糖尿病の基礎知識」意外と知らない？糖尿病」  
「糖尿病と歯科疾患との関係」

### ◆第6回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座

「舌圧検査を地域包括ケアに活かす」  
「検査の実際と展望」

### ◆第8回みえ歯—トネット研修会

### ◆平成28年度学校歯科保健先進地視察研修



公益社団法人  
三重県歯科医師会  
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2017  
**45**  
No. 685

平成28年度第2回学術研修会 .....	1
第6回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座 .....	7
平成28年度学校歯科保健先進地視察研修 .....	10
みえ歯ートネット通信（第8回みえ歯ートネット研修会） .....	12
平成28年度第11回理事会 （県の地域医療構想中間案に対して意見提出） .....	16
平成28年度第6回郡市会長会議 （後期高齢者歯科健診の拡充に向け意見交換） .....	18
平成28年度第12回理事会 （代議員会に向け予算案等を決定） .....	22
医療管理（個人契約の生命保険金等を受け取った場合の課税関係） .....	24
<hr/>	
2月・3月会務日誌 .....	25
会員消息／新入会員プロフィール .....	27
障害者歯科センター診療状況 .....	33
告知板（第37回全日本歯科医師テニス大会のご案内） .....	34
互助会の現況 .....	35
平成28年10月・11月診療分歯科診療報酬状況 .....	35
三重県歯国保組合&協同組合NEWS .....	36
編集後記 .....	39

# 平成28年度 第2回学術研修会

平成29年2月5日（日）  
三重県歯科医師会館

2月5日(日)、平成28年度第2回学術研修会が開かれた。三重県歯では、年2回開催される学術研修会のうち1回は医療連携をテーマに開催しており、今回は三重大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科から古田範子外来副主任と矢野 裕教授による糖尿病と歯周病の関係や糖尿病治療の最前線についての講演が行われた。古田氏は日本人の95%を占める2型糖尿病の合併症について詳しく説明し、血管の機能を維持するために患者それぞれの病態把握と早期治療が必要であると説いた。矢野氏は生活習慣病としての糖尿病と歯周病が密接に関連していることを多くのエビデンスをもとに説明し、今後の医科歯科連携に向けた抱負と高齢者対策について述べた。当日は歯科医師を中心に136名が参加。講演後には、三重県歯・蛭川理事から日本糖尿病協会の登録歯科医師制度への参加が呼び掛けられた。

(学術委員・中瀬 実、藤川尚己 記)

## 糖尿病の基礎知識～意外と知らない？糖尿病～

三重大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科 古田範子外来副主任



臓のβ細胞が破壊されるもので、主に若年者で突然発症するのに対し、2型糖尿病は、遺伝的要因に加え、食事や運動等の生活習慣の問題が加わることで発症する。胎盤から分泌されるホルモンの影響によりインスリンの働きが悪くなることで発症する妊娠糖尿病では、出産後の約半数以上が2型糖尿病に移行する。さらに、ステロイド剤、抗がん剤等の薬剤や、膵疾患（膵臓切除、慢性膵炎）、肝疾患（慢性肝炎、脂肪肝）により引き起こされる糖尿病も存在する。

### 糖尿病の種類

糖尿病は内分泌疾患の一つであり、患者数が多いだけでなく、他科にも重大な影響が及ぶ疾患である。糖尿病は、インスリンが出なくなる1型糖尿病と、インスリンの働きが悪くなる2型糖尿病に大別されるが、日本の糖尿病患者の約95%が2型糖尿病である。1型糖尿病が自己免疫により膵

### 2型糖尿病の病態

インスリンは、血管内の糖を細胞に運ぶことで、血糖値を下げる唯一のホルモンである。そして、遺伝的要因により、インスリンが“出にくい”人に、過食、運動不足等が加わると、インスリンが“効きにくい”状態となり、2型糖尿病へ移行す

る。また、インスリンの作用不足は、持続的な高血糖（糖毒性）を引き起こし、さらにインスリンが“出にくい・効きにくい”状態を悪化させる。すると、糖が血管内に蓄積され、血管にダメージが蓄積し、全身に様々な合併症が生じる（図1）。

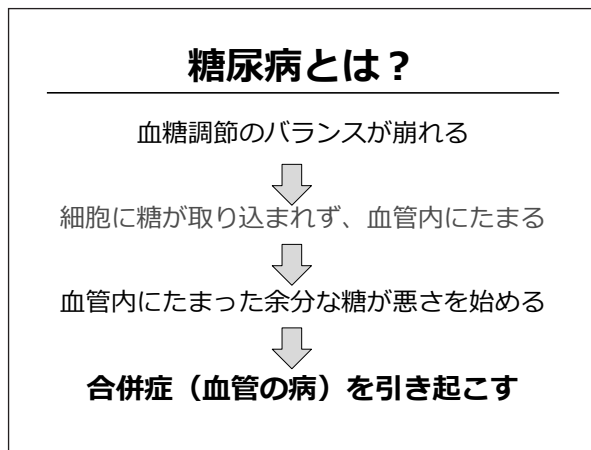


図1

### ■ 糖尿病の慢性合併症

糖尿病の慢性合併症では、細小血管障害として、糖尿病性神経障害・糖尿病網膜症・糖尿病腎症（神経・眼・腎臓の頭文字で「しめじ」）があり、大血管障害として閉塞性動脈硬化症による足壊疽・脳梗塞・狭心症（壊疽・脳梗塞・狭心症の頭文字で「えのき」）がある（図2）。

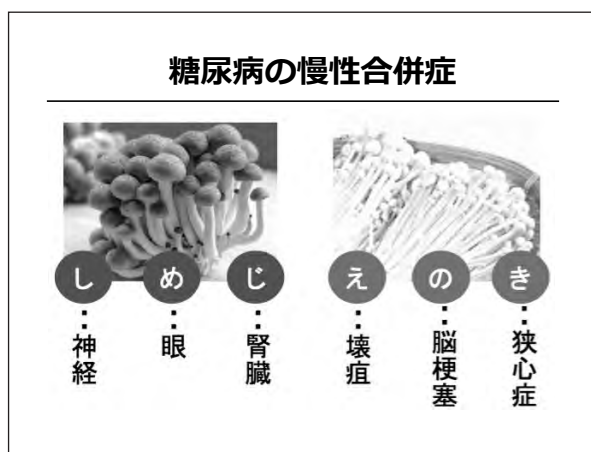


図2

#### ①糖尿病性神経障害

神経を栄養する血管の障害により比較的早期（数年以内）に出現する。自律神経障害の主な症状は、立ちくらみ（起立性低血圧）・無痛性心筋梗塞・勃起不全・便秘・下痢であり、感覚・運動

神経障害の主な症状は、こむら返り・足のしびれ・痛み・知覚異常である。また、病状が進行すると、無感覚となり、足壊疽を招くこともあるため要注意である。

#### ②糖尿病網膜症

糖尿病患者の40～50％に合併し、成人の失明原因の第2位である。糖尿病になって数年から10年で発症するとされているが、かなり進行するまで自覚症状が現れない場合が多いため、無症状でも定期的な眼科受診が必要である。

#### ③糖尿病腎症

腎糸球体の血管が高血糖により障害されると、糸球体の構造破壊に続いて濾過機能の低下を生じる。また、透析に至る患者は年々増加傾向にあり、2013年には透析新規導入の原因疾患の第1位で、44％を占めている。さらに、透析導入後の5年生存率が約50％、10年生存率が約20％との深刻なデータもあるため、透析に至らないように早期に治療を開始することが重要である。また、腎機能を保つためには、2期までの治療開始が推奨されている（表1）。

糖尿病腎症の病期		治療のポイント	
第1期	腎症前期	血糖コントロール	
第2期	早期腎症期		+ 血圧コントロール
第3期	顕性腎症期		+ 血圧コントロール たんぱく制限食
第4期	腎不全期		+ 血圧コントロール 低たんぱく質
第5期	透析療法期		+ 血液透析、腹膜透析 腎移植

2期に治療を始めたい

表1

#### ④大血管障害

脳梗塞等の脳血管障害は、健常者の2～4倍、心筋梗塞の危険度は健常者の3倍以上とされている。また、足壊疽の原因にもなる閉塞性動脈硬化症のリスクは非糖尿病患者の3倍とも言われている。

#### ⑤糖尿病足病変

糖尿病性神経障害により足の感覚が鈍ると、ケ



ガを放置してしまうことがある。また、閉塞性動脈硬化症による血流障害が起きると、治癒不全や感染症が進行し、壊疽を引き起こす。最終的に、下肢切断に至ることもあるため、予防として日頃からのチェックとフットケアを心掛けることが必要である。

#### ⑥認知症

高齢糖尿病患者の認知症リスクはアルツハイマー型認知症・脳血管性認知症ともに、非糖尿病患者の2～4倍である。また、重症低血糖を3回以上起こすと、認知症発症リスクは約2倍になるとの報告もある。

### ■ 糖尿病合併症の予防

合併症の予防には、血糖のコントロールが必須であるが、近年は治療薬の進歩により、厳密に血糖を管理することができるようになった。また、厳密な血糖管理は、通常の血糖管理に比べ、糖尿病合併症の発症頻度も減少させる。一方で、糖尿病発症（診断）以前の前糖尿病期での合併症は緩やかに進行しているため、健診等による早期発見と適切な保健指導と治療を行うことが重要である。また、治療中断等により不適切な血糖コントロールの状態が長期間続くと、後に治療介入しても合併症のリスクが減少しないことから、患者の自己管理及び治療継続が治療の予後を左右する大きな要素と考えられる。

### ■ 糖尿病の診断と血糖のコントロール

過去1～2か月間の血糖値が反映されるHbA1cの基準値は6.5%で、空腹時血糖値126mg/dL以上、あるいはブドウ糖負荷2時間後血糖値（または随時血糖値）200mg/dL以上で糖尿病と診断される（図3）。

血糖コントロールの指標としては、HbA1cが汎用されており、合併症の予防には7%未満が治療目標である（熊本宣言2013）。また、2型糖尿病患者の血糖コントロール状況は年々改善し6%台で推移しているが、肥満（BMI）は逆に微増しており、治療の進歩によって血糖コントロールができるようになった反面、過食が十分に改善されて

いないことが示唆されている。

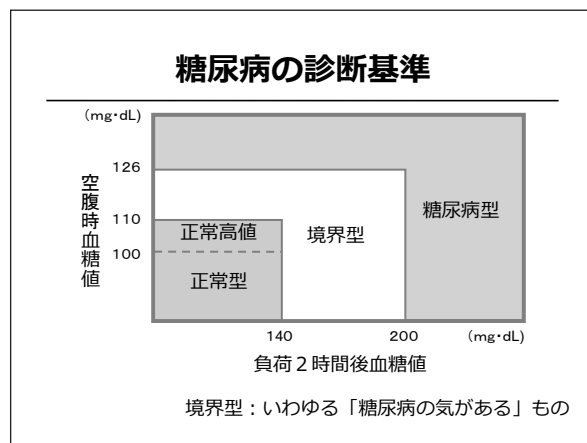


図3

### ■ 糖尿病の治療

糖尿病の治療は、食事・運動及び薬が三本柱となる。食事療法では、①インスリンが効きやすくなる ②肝臓で過剰に糖を作らせない ③インスリンを分泌するβ細胞の機能を改善する一等の効果が期待できる。一方、運動療法では、血糖値を下げる急性効果とインスリンが効きやすくなる慢性効果が期待できるが、ウォーキング等の有酸素運動とレジスタンス運動（筋力トレーニング）を組み合わせるとさらに効果的である。糖尿病治療薬には、経口血糖降下薬（7系統、約30種類）、GLP1受容体作動薬（注射薬、5種類）及びインスリン製剤（5系統、約20種類）があるが、患者それぞれの病状に合わせて選択する。また、これらの治療を進めるうえで最も大切なことは、患者本人の強い意志と実行力である。

### ■ 歯科医師が取得できる糖尿病関連資格

歯科医師の取得できる糖尿病関連の資格には、日本糖尿病協会の歯科医師登録医と地域糖尿病療養指導士があるが、日本糖尿病協会の会員であることが前提である。歯科医師登録医には、同協会の認定研修を受けることで登録可能であり、今回の学術研修会（日本糖尿病協会認定）への参加は更新の条件になる。地域糖尿病療養指導士は、糖尿病療養指導に従事した期間が1年以上あり、日本糖尿病協会三重県支部が主催する指定の講習会を2年間で2回以上受講することが必要である。

## 糖尿病と歯科疾患との関係

三重大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科 矢野 裕教授



### はじめに

インスリンを発見したバンチング博士の誕生日(11/14)は、世界糖尿病デーとして、国際糖尿病連合(IDF)と世界保健機関(WHO)が1991年に制定し、2006年12月に国連総会で公認された国際デーである。世界中で増加する糖尿病の啓蒙を目的とし、シンボルカラーはブルー、シンボルマークはブルーサークルで、青は世界の空を、輪は協力を意味しており、三重県では、2010年から伊賀上野城が青くライトアップされている。

### 歯と歯周病の現状と疫学

厚生労働省の歯科疾患実態調査によると、2011年において、65~70歳未満の年齢階級の平均現在歯数は20本以上であり、80歳以上でも25.1%の人で20歯以上が残存している。また、歯周病に関しても、経年的に改善が認められるものの、65歳以上の高齢者における歯周病の頻度とCPIのcode 3以上の重症患者は50%を超えている。

### 糖尿病と歯周病

糖尿病の合併症には、網膜症、腎症、神経障害、大血管障害、糖尿病足病変(壊疽)があり、歯周病は第6の合併症として認められている。また、

最近では、認知症や骨粗鬆症とも関連があると言われている。

糖尿病と歯周病の関係では、糖尿病患者は、歯周病の頻度が高く、歯周病が重症化しやすいことに加え、糖尿病の罹病期間が長いと歯周病の割合が高いこと、血糖コントロールが悪いと歯周病が重症化しやすいことが知られている。一方、歯周病が重症化すると血糖が悪化すること、歯周病の人は糖尿病の罹患率が高いこと、歯周病が改善すると血糖も改善すること等により、糖尿病と歯周病が相互関係にあることは明らかである。

### 歯周病とインスリン抵抗性

歯周病により糖尿病に悪影響を与える機序については、歯周病による慢性炎症が存在すると、まず、炎症性サイトカイン(TNF- $\alpha$ 等)の産生が増加する。そして、このTNF- $\alpha$ が、標的細胞のインスリンの伝達経路を抑制することで、インスリンの作用が減弱し、ブドウ糖の取り込みが低下し血糖値が上昇すると考えられている(図4)。

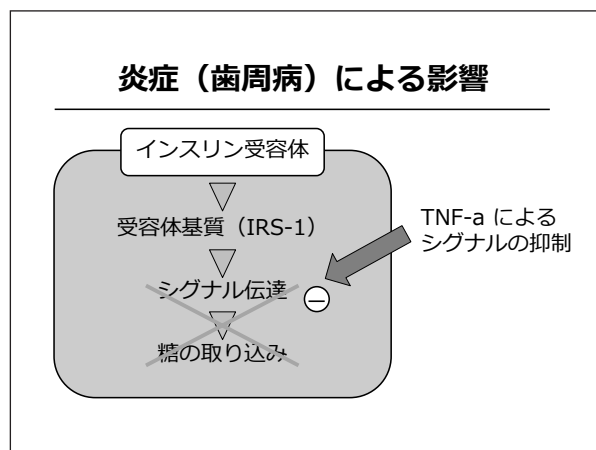


図4

### 高血糖による歯周病への影響

糖尿病による高血糖では、唾液腺の機能的変化

だけでなく、脂肪滴が蓄積することによる器質的変化及び脱水等により唾液分泌が低下する。また、歯肉溝浸出液の糖濃度の上昇により、細菌が糖を取り込みやすくなり、細菌の増殖が促進される。さらに、糖尿病では白血球（好中球）の機能障害により細菌の殺菌消化の機能が低下するため、歯周病が悪化すると考えられている。その他、高血糖は細胞外基質タンパク質を糖化し、全身の微小循環を障害することにより創傷治癒が遅延し、歯周病に悪影響を及ぼす（図5）。

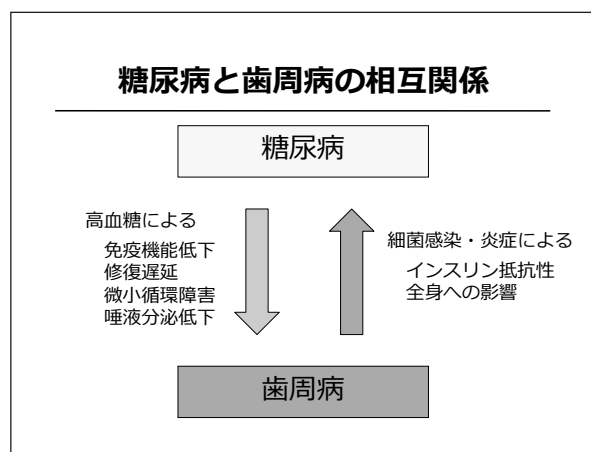


図5

### ■ 歯周病と糖尿病の相互関係（エビデンス）

糖尿病患者に対する歯周治療の5年間の追跡調査により、血糖のコントロールが悪い歯周病患者では、プロービングデプスとアタッチメントロスが悪化することが示されている<sup>1)</sup>。一方、中等度から重度歯周炎（高感度CRPで高値）の2型糖尿病患者では、非外科的歯周治療と抗生物質投与によりHbA1cが改善することから、歯周病治療で血糖を下げる可能性が示されており<sup>2)</sup>、歯周病と糖尿病の相互関係が証明されている。

### ■ 日本の高齢化

日本人の平均寿命（2015年）は、男性が80.5歳、女性が86.8歳であり、男女の合計では世界一である。しかし、平均寿命と健康寿命の差は、男性9.13年、女性12.68年で、今後の高齢化とともに介護される数が増加することが予想される。

これに対応するため、介護や支援の危険が高

まった状態であるフレイル（虚弱）の段階で介入することにより、障害のレベルに至ることを防ぐという考え方が提唱されるようになっている。フレイルの評価基準は、①力が弱くなってきた（握力の低下）②活動量の低下（不活発）③歩く速度が遅くなった④疲労感⑤体重減少—のうち、いずれか1つまたは2つに該当すればプレフレイル、3つ以上に該当すればフレイルと診断される<sup>3)</sup>。また、フレイルには、身体的フレイル、精神・心理的フレイル、社会的フレイルがあり、身体的フレイルの中に、筋力の低下のサルコペニアがある（図6）。

介護の原因疾患は、脳卒中（21.5%）、認知症（15.3%）、高齢による衰弱（13.7%）が大多数を占めている。介護予防において、筋力の低下を予防することを重視したものととしてサルコペニアを含むフレイルへの対応が推奨されるようになったわけだが、糖尿病は脳卒中や認知症を発症しやすいことから、これを治療することも介護予防において重要な位置を占めていると言える。

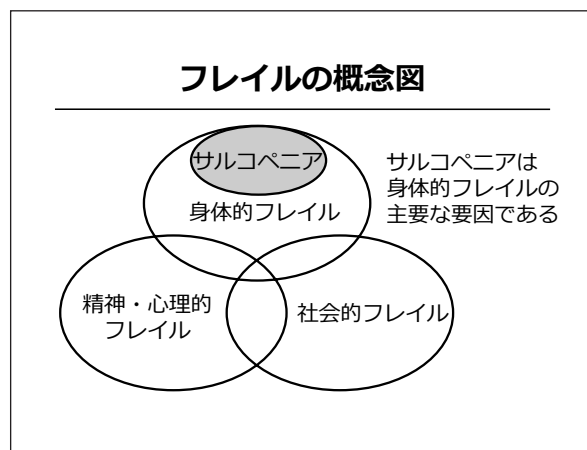


図6

### ■ 歯の本数と寿命の関係

沖縄県宮古島の15年間の後ろ向き調査では、80歳以上の高齢者において、咬める歯の本数が10本以上の人と10本未満の人を比較すると、15年後に生存していた割合は、10本以上で高く（男性54%、女性66%）、10本未満で低かった（男性25%、女性42%）。このことから、咬める本数が多いほど寿命が長いことが示されている<sup>4)</sup>。

## ■ 歯数・義歯使用と認知症発生との関係

65歳以上の健常者を対象として歯と義歯の状況を質問調査し、その後4年間認知症の認定状況を追跡した結果では、年齢、疾患の有無や生活習慣にかかわらず、歯がほとんど無く義歯も使用していない人は、20本以上歯を有する人と比較して、認知症発生のリスクが最大1.9倍高くなる<sup>5)</sup>。

## ■ まとめ

糖尿病と歯周病が密接に関連していることは明らかであるが、患者のためには情報共有等を含めた医科歯科連携の強化が必要である。また、日本は高齢化が著しく、認知症やフレイルに対する対応を迫られており、糖尿病の治療とともに歯科の役割も今後重要な位置を占めることが予想される。

## 参考文献

- 1) Ryan TD, Birte H, et al, The influence of type 1 and type 2 diabetes on periodontal disease progression. *Diabetes Care* 35: 2036-2042, 2012.
- 2) Munenaga Y, Yamashina T, et al, Improvement of glycated hemoglobin in Japanese subjects with type 2 diabetes by resolution of periodontal inflammation using adjunct topical antibiotics : Results from the Hiroshima Study. *Diabetes Research & Clinical Practice* 100: 53-60, 2013.
- 3) Fried LP, et al, Frailty in older adults: evidence for a phenotype. *J Gerontol A Biol Sci Med Sci*, 56(3): M146-156, 2001.
- 4) Fukai K, Takiguchi T, et al, Functional tooth number and 15-year mortality in a cohort of community-residing older people. *Geriatr Gerontol Int.* 7: 341-347, 2007.
- 5) Yamamoto, et al, Psychosomatic Medicine, Association Between Self-Reported Dental Health Status and Onset of Dementia : A 4-Year Prospective Cohort Study of Older Japanese Adults from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES) Project. 74(3): 241-248, 2012.





# 第6回地域包括ケア 歯科医療従事者養成講座

平成29年1月29日（日）  
三重県歯科医師会館

1月29日（日）、第6回地域包括ケア歯科医療従事者養成講座が開催され、地域包括ケアシステムの関係者134名（歯科医師72名、歯科衛生士58名、その他4名）が参集した。今回は広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門先端歯科補綴学の津賀一弘教授が講師を務め、「舌圧検査を地域包括ケアに活かす～検査の実際と展望～」と題し、舌圧測定器や舌トレーニング用具「ペコぱんだ」による口腔機能の簡便な評価、機能の維持・回復に当たっての動機付けやリハビリテーションへの活用の実際について紹介した。なお、今回の講座修了者には、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準の届け出に必要な受講証明書が発行された。

（公衆衛生委員・中藤 健 記）

## 舌圧検査を地域包括ケアに活かす～検査の実際と展望～

広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門先端歯科補綴学  
津賀一弘教授



間で潰す力に着目し、これを舌圧と定義した。舌圧計測時のVFを観察すると、プローブを潰す動作時には舌骨の挙上に咽頭喉頭筋の収縮を伴っており、舌の前方部で食物を潰した場合でも、舌背中央部より後方も連動して動く。舌圧は舌の運動機能の一部ではあるが、単純な一つの数値として表され、比較的安価で簡単に測定可能であるため、医療や介護の現場での良好な連携、相乗効果を生み出すことができる。

### ■ 舌圧を調べることの意義

口腔内に問題がなくても、その他の原因により飲み込もうとすると誤嚥してしまう場合がある。特に体力が低下している高齢者の場合には誤嚥性肺炎を引き起こしかねないため、重大な問題となる。嚥下造影検査（VF）を行えば舌の運動を観察することができるが、決して簡便な検査ではない。そこで口に取り込んだ食物を舌が口蓋前方部との

### ■ 舌圧測定器とは

JMS舌圧測定器(図1)は舌の運動機能を最大舌圧として測定する機器で、本体は軽く片手で持てるサイズである。舌圧プローブの先端部はディスプレイの医療用エラストマー製の風船である。電源を入れて[測定/リセット]ボタンを押すと舌圧プローブが加圧され測定準備が完了する。測定者自身あるいは術者が舌圧プローブを保持し、

バルーン部を口蓋皺壁前方部にあてがいながら唇を閉じさせ、「梅干しの種またはブドウを押すように潰して下さい」等と対象者の食生活に合わせた指示をしながら、5～7秒程度バルーン部を押し潰させる。潰した時のチューブ内の空気圧を測定することで舌圧を測定できる仕組みである。プローブ部分は通电している訳ではないのでペースメーカー使用者であっても問題なく使用できる。「現在圧」としてリアルタイムでバルーン部に加わっている圧力が液晶画面の下段に表示され、測定中の最大値が「最大圧」として上段に表示される（単位はkPa：キロパスカル）。



図 1

## ■ 最大舌圧の疫学調査

舌圧の標準値を求めるため日本全国で舌圧の大規模調査が行われ、健常有歯顎者で両側小臼歯及び大臼歯で咬合接触の保たれているEichnerの分類でA群に当たる853名のデータを使用して年代別の最大舌圧標準値を明らかにした。その結果、健常有歯顎者でも最大舌圧は全身の筋力と同じように若い頃は男性が女性より大きく、加齢とともに男女差がなくなり、60歳代以降低下することが分かった。

このデータから作られた標準値と臨床的に必要と考えられる舌圧の目安は、60歳代では30kPa以上、70歳以上では20kPa以上が正常な嚥下に必要な舌圧と考えられる。

## ■ 高齢者の舌圧の調査で分かってきたこと

病院や施設での高齢者の舌圧調査により、以下のようなことが分かってきた。

①舌圧は要介護3までの高齢者で測定可能（要介護4～5の患者では指示が伝わらない場合が多く計測困難）②残存歯数と最大舌圧に有意な相関は認められない（無歯顎であっても舌の機能に問題を認めない人もいれば、残存歯が多くても舌の力が出せない人もいる）③嚥下グレードと最大舌圧には相関がある（軽症、中等症となるにつれて最大舌圧は下がる）④食事が軟らかい人は舌圧が低い（施設が適切に舌圧の低い患者に軟らかい食事を取らせていると考えることもできるが、必要以上に食事形態を落としてしまうことで、廃用性舌圧低下、口腔機能低下を招いているという可能性も否定できない）⑤要介護高齢者における舌圧と口腔機能の関係（特別養護老人ホームに入居する要介護高齢者において、むせのある者、食べこぼしのある者、流涎のある者、低栄養状態のリスクがある者の舌圧は、そうでない者よりも有意に低かった）。

これらの研究結果は、今まで定性的にしか語るることのできなかった口腔機能低下について、機能全体の一部ではあるものの舌圧というパラメータにより定量的に表せる可能性を示している。

## ■ 舌接触補助床（PAP）について

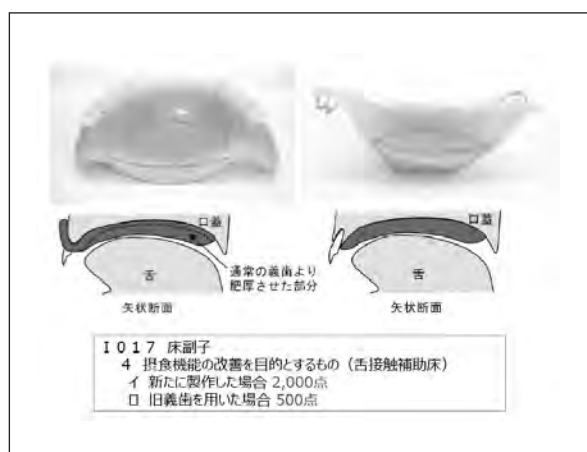


図 2

平成28年度診療報酬改定において、舌接触補助床（以下PAP）を装着した患者に対する舌圧検査（140点）が保険収載された。舌接触補助床の

製作・調整については、それぞれ22年、26年度改定において導入されており(図2)、舌が上がりにくい患者に対し床副子を製作するか、旧義歯の口蓋部を厚く修正することで舌と口蓋の接触状態を変化させ、嚥下障害を改善するものである。準備期の食塊形成困難や口腔期の送り込み障害に効果があり、口腔癌の手術後、舌の可動制限により、舌を押しつける力が弱くなっている場合、脳血管障害や神経疾患で舌の力や運動能力が低下している場合等に効果がある。

PAPの製作前・後に舌圧検査を行うことでPAPの適応症を判断しやすくなる。

### ■ ゲームで楽しみながら機能低下を予防する

昨年、日本老年歯科医学会より学会見解論文が発表され、口腔機能低下についての提言が示された。この背景には医療・介護における二次介護予防が重要視されていることがある。二次介護予防とは要支援・要介護に陥るリスクが高い高齢者を早期発見し、早期に対応することにより状態を改善し、要支援状態になることを遅らせる取り組みである。

主な二次介護予防プログラムとして、①運動機能向上プログラム ②栄養改善プログラム ③口腔機能向上プログラムがある。

口腔機能向上プログラムとしては、口腔体操、ゲームやレクチャー等が行われており、介護予防サービス単位で個別に行った場合は「口腔機能向上加算」150単位が算定できる。しかし、実際には十分利用されているとは言えないのが現状であり、運動機能向上加算の請求が月40万件あるのに対し、口腔機能向上加算の請求は約1万件にとどまっている。この理由としては、①対象者本人(高齢者)が口腔機能向上の必要性(=咀嚼・嚥下機能の低下)について認識していない ②事業提供者が、効果を具体的にイメージできない一等が考えられる。口腔体操により舌圧の増加が認められたとする調査結果もあり、少なくとも現状より口腔機能を低下させないためには、口腔体操を含めた口腔機能向上プログラムには十分意義があると言える。

ただし口腔体操は高齢者が真剣に取り組むかどうかで効果に差が出ると考えられる。

### ■ 舌トレーニング用具 (ペコぱんだ)

JMS舌圧測定器による測定時の動きと同様の舌トレーニングを簡便に行える器具として「ペコぱんだ」(図3)がある。摂食嚥下リハビリテーションには舌骨挙上訓練、呼吸筋強化訓練並びに舌抵抗訓練の3つがある。「ペコぱんだ」は口腔内に挿入し、舌で押し潰すことでトレーニングでき、舌の力により硬さを選んで使用できる。従来の口腔機能訓練に加えて「ペコぱんだ」など器具を用いた機能訓練を行った場合、従来の訓練だけの群に比べて有意に嚥下障害スコアの改善や舌圧の増加が認められた。

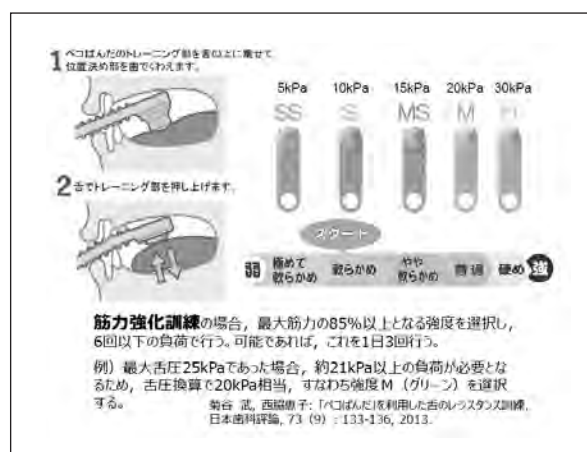


図 3

### ■ まとめ

口で末長く美味しく食べられる高齢者を増やすために舌圧検査や舌トレーニングを活用すれば歯科はQOL改善にもっと寄与できると考えられる。舌圧測定器は評価しにくかった口腔機能を客観的に評価でき、現場スタッフと共有することによって、食事介助、生活指導、口腔機能サービスに役立てることができる。また、舌抵抗器具を用いることによって舌の筋力や持久力においては効果的な維持、改善が見込まれる。口腔機能の回復・維持・向上により国民総医療費・介護費を軽減することから「歯科は究極の介護予防」であると言える。

# 平成28年度 学校歯科保健 先進地視察研修

平成29年2月16日（木）  
岐阜県・瑞穂市立穂積小学校



2月16日（木）、平成28年度学校歯科保健先進地視察研修が実施された。三重県内では平成27年度から熊野市でモデル事業として小学校でのフッ化物洗口が始まり、28年4月21日（木）に開かれた郡市会長会議では、三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課の加太竜一課長がフッ化物洗口の実施による歯科保健対策の推進について説明する等、小学校でのフッ化物洗口実施に向けた機運が高まっている。そんな中、平成20年度から始まった学校歯科保健先進地視察研修が今年度も実施され、市町教育委員会から3名、県教育委員会から2名、養護教諭6名、松阪市や大台町等の行政から8名、松阪地区歯科医師会役員他6名、計25名が参加した（三重県歯からは福森理事、伊東理事と事務局職員が、三重県健康福祉部から成瀬主幹他2名が随員）。今回は岐阜県瑞穂市立穂積小学校を訪問。給食後の歯磨きとフッ化物洗口を各教室に分かれて見学した後、保健室で洗口液の調整等の説明を受けた。見学後には同校の養護教諭から歯科保健活動全般についての紹介があった他、朝日大学歯学部長・磯崎篤則教授による「フッ化物洗口の40年変化」と題した講演も聴講した。

一行は午前9時30分に三重県庁をバスで出発し、約2時間で岐阜県瑞穂市に到着。朝日大学で昼食

を済ませてから、視察先を訪問。穂積小学校・河合京子教頭から同校についての紹介を受けた後、



各教室に分かれて校内を見学した。

各学年とも児童たちは、給食を食べ終わると教室内のテレビから流れる「歯磨きの歌」に合わせて3分間の歯磨きを済ませる。その後、当番によりフッ化物洗口液が分注された自分のカップ（番号が記入されている）を受け取り、慣れた様子で30回の洗口を行うと、手早くカップを水洗し元のケースに戻していく。蛇口はクラスに数か所と限られているが、特に混雑することもなく全員がスムーズに洗口を終えていた。保健室では、▽洗口液の準備手順▽薬剤の保管状況▽当番児童の仕事▽器材の洗浄一等について説明を受けた。養護教諭不在時にも、教頭が代行することで児童たちの洗口は円滑に実施されているとのこと。



見学後には濱 理恵養護教諭により穂積小学校の歯科保健活動についての紹介を受けた。穂積小学校では昭和50（1975）年からフッ化物洗口を開始。すでに40年以上が経過しており、その取り組みは市民に定着している。そのため、入学時に保護者を対象とした説明会等は開催していない。ただし、名古屋市のベッドタウンとして人口が増加している地域でもあることから、現在も同意書の提出は求めているという。フッ化物洗口の実施だけでなく歯科保健活動として朝日大学の磯崎教授や歯科衛生士による研修会も実施され、染め出しやカリオスタットも定期的に行い、児童個々の歯科保健記録簿として残している等、工夫を凝らした取り組みが行われていることも注目された。

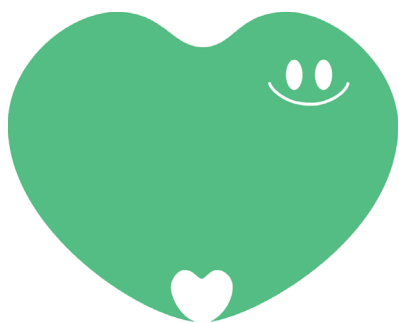
研修の締め括りには、朝日大学歯学部長・磯崎篤則教授により、「フッ化物洗口の40年変化」と題した講演が行われた。

磯崎教授は瑞穂市に次いで、平成18（2006）年から山県市でもフッ化物洗口の取組みに関わっている。瑞穂市では小学校のみでの実施だったのに対し、山県市では保育園・幼稚園から中学校までも実施することとなった。この両者を比較したところ、後発にもかかわらず山県市のDMFT指数が有意に低くなっているという。歯種別のデータを調べると、この差は小学校入学前に萌出することが多い第一大臼歯や、中学校入学後萌出することがある第二大臼歯に現れていた（小学校在学中に萌出するその他の歯種には差が見られなかった）。小学校のフッ化物洗口の効果は大きい、それで十分なわけではなく、より長期間これを行うことが望ましいことが分かる。

フッ化物洗口がなかなか普及しない原因の一つとして、むし歯予防について「歯磨き」の効果が過大評価されていることも指摘された。「どのような方法がむし歯の予防に効果的と認識しているか」について問う調査をしたところ、養護教諭や行政関係者だけでなく、歯科医師を対象とした場合でさえも「歯磨き」がトップに来てしまうという。この背景には「歯と口の健康週間（旧・歯の衛生週間）」の標語等で、1980年代に至るまで20年以上にわたって「歯磨き」が謳われたこともあるだろう。WHOでは1972年に「むし歯予防に関して（中略）口腔清掃は効果的であるかもしれないが、その程度は明らかにされておらず、効能を強調し過ぎてはならない」との見解を示していたことを考えれば、もう少し早く「歯磨き」偏重から脱していてもよかったのかもしれない。

今年度の視察研修には、三重県でフッ化物洗口をモデル事業として実施している小学校の養護教諭等も参加していたため、インフルエンザ流行時や児童の体調不良時の対応、フッ化物洗口への児童の関わり等、具体的な質問が多数寄せられた。先鞭を付けた熊野市では実施する小学校が増加しており、さらに松阪地区でもフッ化物洗口の導入が具体化していると聞く。今回の研修がこうした動きをさらに後押しできたとしたら嬉しい。

（理事・福森哲也 記）



# みえ歯ートネット通信

<http://www.dental-mie.or.jp/heartnet/>

## 第8回みえ歯ートネット研修会

2月9日(木)、第8回みえ歯ートネット研修会が開かれ、歯科医療・介護・支援団体・ボランティア団体の関係者ら65名が参集した。前半は三重県健康福祉部障がい福祉課生活支援班の田中 馨班長が講演。「障がい者施策の概要について」と題して、障害者に対する法律や制度のこれまでの変遷及び三重県の福祉施策への取組みについて詳しく解説した。後半は三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター長で、済生会明和病院なでしこの非常勤小児科医師も務める岩本彰太郎氏が「医療的ケアを必要とする子どもと家族のためにできること」と題して、医療的ケア児の在宅療養の現状と特徴、医療的ケア児と家族のための在宅支援体制整備の実際について講演。新生児集中治療室（NICU）から在宅での医療的ケアに移行した実際の症例についての貴重な映像も交えて紹介した。

(公衆衛生委員・大西薫児 記)

### 障がい者施策の概要について

三重県健康福祉部障がい福祉課生活支援班・田中 馨班長



「障害者」については、障害者基本法で「身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害がある者であって障害及び社会的障壁（障害がある者にとって日常生活又

は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう）により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にある者をいう」と定義されている。

障害者に係る主な制度としては、▽経済的支援のための障害年金▽証明や各種割引に用いる障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）▽権利擁護のための虐待防止法・差別解消法▽福祉サービスに係る障害者総合支援法—等がある。三重県では障害者手帳を交付されている人は98,310人（平成28年4月1日現在）で、総人口に占める割合は5.43%に達し、20人に1人

が手帳を持っていることになる。

平成18（2006）年に国連で採択された「障害者の権利に関する条約」は、「Nothing about us without us！（我々抜きに我々のことを決めるな）」という当事者参画による政策の決定を重視する考え方を根本に置き、従来の「障害を個人の問題として心身の機能に注目した医学モデル＝慈善的な福祉モデル」から、「社会参加を困難にしている社会の側を問題とする社会モデル＝権利保障モデル」への転換を促している。日本では、この条約の批准こそ26年1月とやや遅れたものの、24年10月には障害者虐待防止法が、28年4月に障害者差別解消法がそれぞれ施行された他、23年7月には障害者基本法の改正が、25年4月には障害者自立支援法から障害者総合支援法への改変が行われている。

障害者総合支援法のポイントとしては、①各障害福祉サービス（身体・知的・精神）の一元化 ②利用者本位のサービス体系への再編 ③就労支援の抜本的な強化 ④支給決定の透明化・明確化 ⑤費用を負担しあう仕組みの強化（所得に応じた負担上限額の設定や国の費用負担の義務化）等が挙げられる。

総合支援法に基づいて市町が行う障害福祉サービスは、自立支援給付（介護給付及び訓練等給付）と地域生活支援事業に大別され、県は地域生活支援事業を支援する役割を担う。障害福祉サービスを利用するには、①相談支援事業所または役所の窓口への相談・申請 ②認定調査員による障害認定区分の認定調査 ③サービス等利用計画案提出

④受給者証の交付 ⑤サービス等利用計画提出 ⑥利用契約・利用開始—という手順が必要になる。

三重県内のサービス提供事業所は、入所施設（障害者支援施設）40か所で1,700名が、通所施設420か所で7,900名が、それぞれ利用している。障害者総合支援法に基づく県の施策は、①居住支援（施設から地域へ、グループホーム等の整備）②就労支援（地域での自立した生活に向けた一般就労移行、障害者工賃等の引上げ）③相談支援（個人の課題へのきめ細かい対応を可能にする体制整備）—を3本の柱に据えており、知事を本部長とする部局横断的な組織である「三重県障がい者支援施策総合推進会議」が設置され、県庁各部署が協議・連携して障害者施策に当たっている。

なお、総合支援法については、その附則に従い、28年5月に改正法が成立しており、障害者の高齢化への対応等が盛り込まれた。

28年4月に施行された障害者差別解消法は、障害者基本法の理念に則り、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等（差別的取扱いの禁止と合理的配慮の不提供の禁止）を定めたものである。国が同法に則って策定した「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針」には、対象とする障害者がいわゆる障害者手帳の所持者に限られないことや、全ての事業者を対象とすること等が明記されている。

## 医療的ケアを必要とする子どもと家族のためにできること

三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター・岩本彰太郎センター長

人工呼吸器を装着している障害児等、日常生活を営むために医療を要する子どもたちを「医療的ケア児」と呼ぶ。NICU（新生児集中治療室）か

ら退院し、自宅で経管栄養等の医療的ケアを必要としている子どもたちも含まれる。在宅で暮らす医療的ケア児には、適切なサポートが必須である。



現在、医療的ケア児は全国で17,000人を超え、人工呼吸器を装着して小児在宅医療へ移行する子どもは10年前に比べて10倍にも増え、全国で約3,000人を数える。

医療的ケア児が在宅へ移行する際には、▽医療的ケア▽家族支援▽経済支援▽医療連携▽福祉連携一等を準備する必要がある。医療的ケア児の在宅での生活を支援するために、介護保険におけるケアマネジャーに相当する役割を務めるのは相談支援専門員だが、医療的ケア児では医療レベルが高くなるため、病院のソーシャルワーカー等も含めた多岐にわたる連携が必要となる。相談支援専門員が担えることは限定的で、親が背負わざるを得ない部分も多く、その負担が大きいのが現状である。

小児在宅医療の対象患者は、その発症時期により、①出生前・出生時・新生児期 ②中途障害児（生後4週以降）に大別され、前者が多くを占める。近年、在胎22～27週で生まれてくる子どもが増加しており、その理由としては母親の出産年齢が30代中心と高くなってきていることが考えられる。これに伴い、低出生体重児（出生時体重2,500g未満）や極低出生体重児（同1,500g未満）、超低出生体重児（同1,000g未満）が増加しており、障害発生も増加している。一方で日本のNICUでは医療技術の高度な発達により、乳児及び新生児死亡率が大幅に減少し、世界最高水準に達している。結果として、NICUの長期入院患者及び在宅人工呼吸器患者が増加傾向となり、今後はこうした子どもたちの、その後の生活の質を高めて

いくことが求められている。

三重県の年間出生数約14,000人のうち、1,000人がNICUに入院しており、このうち約20名が医療的ケアを受けながら在宅へと移行すると推計される。三重県内の在宅医療的ケア児の実数を把握すべく28年度に調査を行った結果、在宅医療的ケア児は174名で、人工呼吸器を使っている子どもが40名いることが分かっている（図1）。



図1

小児在宅医療の対象となる子どもの特徴は、①医療依存度が高い（複数の医療デバイスを使用し、介助者は24時間目を離せない）②コミュニケーションが困難なことが多く異常であることの判断が難しい ③成長するに従って病態が変化する ④成長のためには支援が必要一等が挙げられる。

以上のことを踏まえ、医療的ケア児と家族のための在宅支援体制整備について考えたい。

在宅医療的ケア児の課題として、▽保護者の負担が大きい▽ケア児のリハビリ等療育の保障が必要▽兄弟の生活支援・心理的負担への配慮が必要一等が挙げられる。在宅重症児者・家族のニーズを調査したところ、地域のサービスとして、①利用可能な短期入所事業所の増加 ②医療機関による短期入所の実施 ③医療的ケアに対応できる福祉事業所の充実 ④訪問看護ステーションの充実 ⑤医療的障害児長期入所施設の増加一等が求められていることが分かったが、いずれも満足できる状況ではない。また、医療的ケア児に対しては、医師を中心として生命の安全を図ることが第一だ



が、看護師らによる健康の維持が実現できたら、次の段階として社会参加が目標となる。医療が支え、教育・福祉が育て、地域社会が迎え入れる、こうした仕組みづくり(図2)が必要だが、受け皿が未整備なまま在宅への移行が性急に進められているのが現状である。地域生活支援は0～100歳までと言われるが、在宅医療的ケア児を支える制度は、児童福祉と高齢者福祉の間に障害者総合支援法しかなく、そのサービスも十分とは言い難い。

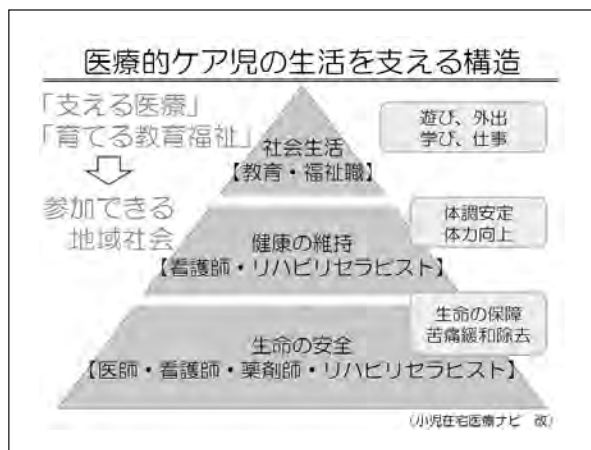


図2

小児在宅医療の地域連携について高齢者と比較すると、①ケアマネジャーのような医療と介護をつなぐ仕組みがない ②一時的にケアの代替を行い家族の負担を軽減するレスパイトケアが未整備 ③在宅医と病院医師の2人主治医制になる ④リハビリの多様性へ対応する工夫が必要—等が指摘できる。

特に三重県では医療的ケア児のための短期入所受入れ施設が少ない(超重症児受入れは三重病院のみ)ことが大きな問題で、医療的ケア児対応の診療所・クリニックや訪問看護ステーション等の体制も不十分だった。そこで、県行政は25・26年度に国の小児等在宅医療連携拠点事業の採択を受け、三重大学医学部附属病院を中心としてこうした状況の改善に努めてきた(図3)。県庁内にもワーキンググループが設置され、月に一度話し合いが行われている。また、四日市市で稼働していた「e-ケアネットよっかいち」に習い、25年度か

ら桑名市と鈴鹿市を重症児連携モデル地区に設定、28年度からは、四日市市や既存施設である「明和病院なでしこ」の拡充を図った「三重県南部医療的ケア地域支援連携会議“みえる輪ネット”」も含めたモデル事業が実施されている。

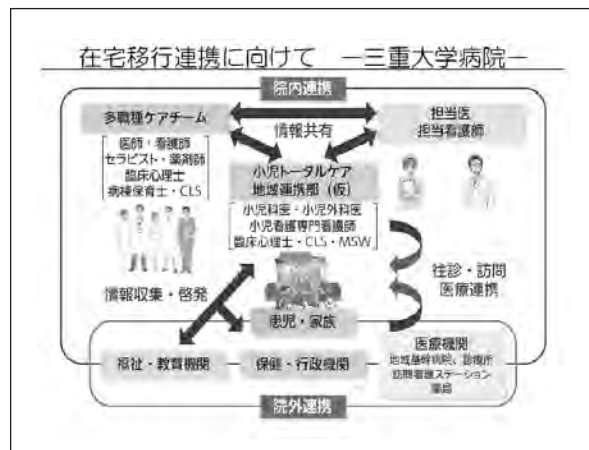


図3

NICUでは、VAP(人工呼吸器関連肺炎)予防を目的として、口腔清掃等の口腔ケアが行われている。呼吸器を付けた子どもの場合には経管栄養が基本であり、在宅移行後に口腔過敏や哺乳障害が問題となる場合もある。新生児期からの口腔ケアの実施は、早期に口腔への触覚的経験を与えることになり、口腔機能の発達を促すという役割としても重要な意義を持つと考えられる。NICUの環境下で家族が育児の一環として実施できるという意味でも有益である(図4)。

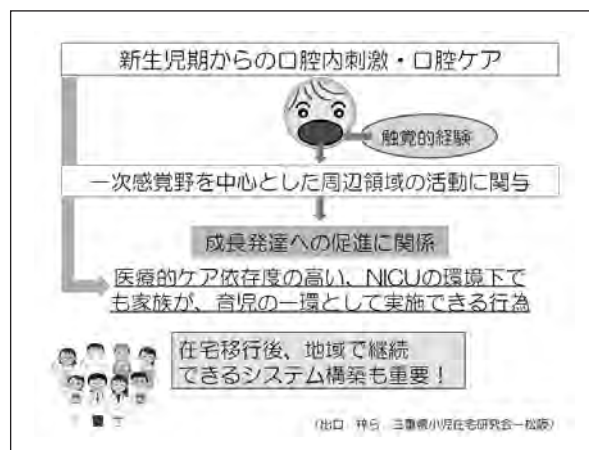


図4

平成28年度

## 第11回理事会

February

平成29年2月2日(木)

三重県歯科医師会館

## 県の地域医療構想中間案に対して意見提出

2月2日(木)、平成28年度第11回理事会が開かれた。田所会長からは、三重県地域医療構想(中間案)に対して、①入院患者の口腔管理 ②在宅歯科医療の需要把握と提供体制の整備 ③クリティカルパスへの歯科の関与一等を明記するよう求めた旨が報告された。社会保障委員会からは、4月の歯科用貴金属価格の改定について、医療管理委員会からは保健所による立入検査要綱の一部改正等について、それぞれ報告があった他、公衆衛生委員会からは「がん診療医科歯科連携登録」に係る院内掲示用ステッカーの作成について提案があった。広報情報委員会からは、コーナー提供を続けているFM三重の『はぴはぴ子育て』について、パソコン等での聴取が可能なアプリ「radico」に、放送後1週間のタイムフリー聴取機能が追加されたことが報告された。協議では、▽29年度事業計画の詳細▽後期高齢者歯科健診の拡大に向けた交渉▽愛知学院大学歯学部附属病院との医療連携協定一等について意見を交わした。

## 委員会事業等報告

## ●社会保障委員会



【事業活動】個別指導・自主懇談、郡市会社保講習会(伊勢1/12、尾鷲・南紀合同1/15、桑員1/19、四日市1/26)【報告事項】酸素の購入価格に関する届け出、歯科用貴金属価格の随時改定(29年4月)、歯周組織再生剤「リグロス歯科用液キット」(科研製薬)、口腔外バキューム「Free-100」(フォレストワン)

## ●医療管理委員会

【事業活動】平成28年度郡市会顧問税理士連絡協議会、医療管理・福祉厚生合同委員会(1/12)

【出席会議】改正医療法及び持分なし医療法人への移行計画の認定制度に関する説明会(1/18)、平成28年度第1回三重県医療安全推進協議会(1/19)、平成28年度医療事故・医療事故紛争防止対策講演会(1/22)【報告事項】『三歯会報』2・3月号植村顧問記事、医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査要綱の一部改正、パウダー付き医療用手袋に関する取扱い、歯科相談(2件)【協議事項】平成29年度歯科衛生士研修会講師

## ●学術委員会

【出席会議】三重県医科歯科連携推進人材養成事業「第4回医科・歯科連携推進人材養成研修会」(1/22)【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(県歯HP)、平成29年度プロジェクト研究費公募用テーマ【協議事項】がん連携登録歯科医の名簿(県歯HP)

## ●福祉厚生委員会

【事業活動】医療管理・福祉厚生合同委員会(1/12)【協議事項】ナゴヤドーム開催試合チ

ケット特別販売の取扱い、大相撲名古屋場所チ  
ケット特別優先販売

### ●公衆衛生委員会



【事業活動】郡市会認知症対応力向上セミナー（松阪1/12、四日市1/14、鳥羽志摩1/18、伊勢及び伊賀2/2）、児童相談所一時保護所入所者に対する歯科健診・歯科保健指導（1/19）、桑員歯・学校歯科医研修会（1/19）、学校保健総合支援事業「歯と口の健康づくり」に関する講演会（2/2）【出席会議】学校保健総合支援事業第2回協議会（1/12）、健保連・三重連合会「事業意見交換会」（1/19）、平成28年度日本体育協会公認スポーツデンティスト養成講習会（医科共通Ⅱ、1/21・22）、第2回東海オーラルマネジメント研究会・同世話人会、三重県歯科歯科連携推進人材養成事業「第4回医科・歯科連携推進人材養成研修会」（1/22）、平成28年度都道府県歯地域保健・産業保健・介護保険担当事務連絡協議会（1/25）、第2回三重県公

### その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護給付審査会報告
3. 平成28年度第2回東海信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会（1/21）

### 議題

- 第1号：郡市会長会議の招集並びに附議事項に関する件
- 第2号：三重県歯科医師会会費免除について
- 第3号：県内歯科衛生士養成学校平成28年度卒業生に対する三重県歯会長表彰被表彰者について
- 第4号：互助会給付について（1/8～2/1 申請分）

衆衛生審議会歯科保健推進部会、第13回三重大学緩和ケアセミナー（1/26）【報告事項】第6回地域包括ケア養成講座参加者数、『ヘルスサイエンス・ヘルスケア（深井保健科学研究所発行）』嶋崎義浩教授原稿、学校歯科保健統計資料、みえ歯ートネット事業アンケート結果【協議事項】がん診療医科歯科連携登録ステッカー（案）

### ●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』（1/9放送）【出席会議】FM三重『はぴはぴ子育て』29年度打合せ（1/25）、三重テレビ『とってもワクドキ！』29年度打合せ（1/25）【報告事項】役員名簿・会員名簿の作成スケジュール、平成27年度三重県後期高齢者健康診断関連データ分析結果報告

### ●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況（1/31現在）、日本歯科商工協会と大規模災害発生時等における歯科医療に係る支援物資協力協定の締結（日歯）、第16回警察歯科医会全国大会、都道府県歯災害・警察歯科担当事務連絡協議会の開催（日歯）

### ●日歯委員会報告

【社会保険委員会】第2回社会保険委員会（1/25）【医療管理委員会】第2回医療管理委員会（2/1）

### 協議事項

1. 平成29年度事業計画について
2. 後期高齢者歯科健診について
3. 愛知学院大学歯学部附属病院との医療連携協定について

平成28年度

## 第6回郡市会長会議

February

平成29年2月26日（日）

三重県歯科医師会館

## 後期高齢者歯科健診の拡充に向け意見交換



2月26日(日)、平成28年度第6回郡市会長会議が開かれた。29年度事業計画等について協議された他、羽根常務理事が後期高齢者歯科健診の意義と効果等について資料を示し、対象年齢の拡充に向け市町の首長や担当者へ働き掛けるよう郡市会長らに呼び掛けた。また、この日は先頃保険適用された「リグロス歯科用液キット」について科研製薬(株)の、「外来環」「か強診」施設規準に適合した比較的安価な口腔外バキューム「Free-100」について(株)フォレストワンの担当者が、それぞれ商品説明に訪れた。今後、要望に応じて郡市会でも説明会を実施する準備があるとのこと。

## 会長報告

## 日歯会長予備選挙

2月17日(金)、日歯会長予備選挙の開票が行われ、現職の堀 憲郎氏が当選した。立候補者は堀氏のみだったが、候補者が定数内であっても選挙が行われると規定されているため、代議員138名と選挙人500名の合計638名を有権者とする郵便投票が実施された(投票総数:605票、有効投票数:594票、無効票:11票)。堀会長は翌週の24日(金)に開かれた都道府県会長会議の席上で選挙結果について触れ、「歯科界の信頼回復に努めてきたことが評価された」と感謝を

述べるとともに、これまで取り組んできた28課題について、倫理規定策定等の課題が完了した一方で、口腔健康管理等を新たな課題として加えたことを報告している。

## 日本歯科医学会会長選挙及び日学歯会長予備選挙

2月20日(月)、日本歯科医学会の評議員会が開かれ、任期満了に伴う会長選挙で現職の住友雅人氏が選任された。3期目となる。

日本学校歯科医会(日学歯)の会長予備選挙には丸山進一郎氏(現職)と川本 強氏(東京都学校歯科医会会長)の2名が立候補している



(3月1日(水)に開票され川本氏が当選した)。  
平成29年度歯科保健関係予算案

12月22日(木)、29年度予算案が閣議決定され、厚労省医政局歯科保健課から歯科保健医療施策に関わる予算案が公表された。昨年度予算に対し10%強の増額となっている。新規事業として「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推

進事業」に約1億円が計上されていること等が注目される。また、保険局所管歯科保健関連事業として、「健康寿命の延伸に向けた歯科口腔保健の推進(後期高齢者歯科健診等)」に約5億7千万円、「高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進」に約3億6千万円が計上されている。

## 一般会務報告

### 会員数

28年4月1日～29年2月24日の期間で入会7名、退会12名。現会員数867名。

### 愛知学院大学歯学部附属病院との医療連携協定

28年度初めから準備を進めてきた愛知学院大

学歯学部附属病院との医療連携協定について、4月20日(木)に調印式を行うことが決まった。調印後は運営委員会を設置する。また、連携協定の調印を記念した学術講演会を開催する予定。

## 委員会事業報告

### 【学術】(大杉副会長、蛭川理事)

#### 平成28年度第2回学術研修会の結果

2月5日(日)に糖尿病をテーマに開催した(P.1参照)。受講者は136名。

#### 平成28年度郡市会学術研修会助成事業

11郡市会全てからの申請を受理した。

#### 歯科医師臨床研修におけるアンケート調査(日歯)

日歯が歯科医師臨床研修実施医療機関を対象にした調査を実施する。対象者は協力されたい。

#### 北勢・地域連携栄養カンファレンス

28年より大杉副会長が三重NST研究会に世話人の一人として参画しているが、同会の北勢地区のメンバーによる「北勢・地域連携栄養カンファレンス」が3月4日(土)に開催される。今後、歯科からも積極的に参加して欲しい。

### 【公衆衛生】(羽根常務理事、福森理事)

#### 学校歯科健診における喪失歯の審査基準

学校歯科健診において「△」で表示する「喪失歯(永久歯)」は、永久歯でう蝕により喪失したものを指す(ブリッジにより補綴され、ポンティックとなっているものも含む)。一方、外傷や歯周疾患で喪失した場合や歯科矯正治療のための便宜抜歯、先天欠如等による喪失歯は「△」を付けず無印とすることとされている。う蝕に

よらない喪失歯に対して「△」を付けると、DMF指数におけるMが過大にカウントされ、歯科保健に係るデータが不正確になってしまうので誤りのないように十分に注意されたい。

#### がん診療医科歯科連携登録ステッカー

現在、がん診療医科歯科連携登録を済ませている会員は263名となっている。今般、登録歯科医師であることを示す院内掲示用のステッカーを作成配布することとした。活用されたい。

#### 平成28年度公衆衛生事業

今年度は公衆衛生事業として、▽フッ化物洗口推進事業▽学校歯科保健指導事業▽みえ歯ネット事業における歯科保健指導▽口腔ケア推進事業▽地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議▽認知症対応力向上セミナー等を実施した。

#### フッ化物洗口推進事業

各年度のモデル施設とミラノール提供に係る資料をまとめたので参照されたい。継続実施状況について、幼稚園・保育園に対してアンケートを行う。

#### 三重県医師会等による地域包括ケア報告会

3月5日(日)に三重県医師会と三重県との共催による「地域包括ケア報告会」が開かれる。

四日市市及び御浜町から事例発表が行われる他、三重県歯からも羽根常務理事が地域口腔ケアステーション及びサポートマネージャー事業、在宅歯科医療のための機器整備の取組み等を報告する予定。

#### 【社会保障】(大杉副会長、前田理事)

##### 歯科用貴金属価格の随時改定(29年4月)

昨年10月から素材価格が5%以上変動した2品目の告示価格が改定される。歯科鑄造用金銀パラジウム合金(金12%以上JIS適合品)は1,206円から1,279円に引上げ。

##### 歯科用シタネストオクタプレシンの出荷制限

デンツプライシロナ(株)が販売している「歯科用シタネストオクタプレシンカートリッジ」について、海外の製剤原液製造元からの供給が受けられなくなった。現在進めている国内の供給者への移管と製造所変更の手続きに遅れが出ているため、2月末にも在庫がなくなる。4月販売再開を目指しているところである。アドレナリンを含有しない類似製剤としては歯科用スキャンドネストカートリッジがあるが、伝達麻酔の適用はないので注意されたい。

##### 疑義解釈(その9)

2月23日付で疑義解釈(その9)が発出された。追って会員に周知する。

##### 訪問診療等に関する届け出

29年4月診療分以降に歯科訪問診療料1~3を算定するためには、3月末日までに在宅療養支援歯科診療所または歯科訪問診療料の注13に

規定する施設基準の届け出が必要となっている。未届けの医療機関においては注意されたい。

#### 【医療管理】(桑名理事)

##### 医療法による立入検査要綱の改正

28年末に医療法第25条第1項の規定に基づく保健所の立入検査要綱が一部改正され、その内容について日歯より情報提供があった。「医療機器の清潔保持及び維持管理」の備考として、歯科用ハンドピースを含む歯科治療用器機・器材の患者ごとの滅菌・交換、さらにユニット数に対するハンドピースの本数についても言及されていることが注目される。この検査要綱自体は病院を対象としたものであるが、診療所への立入検査においても参考にされる可能性も考え、留意されたい。

##### 医療事故調査制度状況報告(12月・1月)

1月末で、医療事故報告は累計517件、院内調査結果報告は累計258件、相談件数は累計2,472件、センター調査の依頼件数は累計21件。

#### 【広報情報】(太田常務理事)

##### FM三重『はぴはぴ子育て』タイムフリー聴取

三重県歯ではFM三重の『はぴはぴ子育て』内のコーナー「子育ての輪」で、毎月第2週金曜日に“よく噛むことからはじまる健康づくり”と題して情報提供を行っている。同番組について、ウェブアプリ「radico」の機能によりリアルタイム以外の時間にも聴取することができるようになった。ぜひ活用されたい。

## その他の報告

### SECOM安否確認登録状況

2月20日(月)現在の登録状況は会員数860名

中771名(89.65%)。4月に訓練を実施する予定。

## 協議事項

### 後期高齢者歯科健診事業について

三重県では26年度から75歳及び80歳の県民を対象に後期高齢者歯科健診を実施している。田所会長は対象年齢の拡大に向けて、事業スタート時と同様、市町への働き掛けが不可欠であ

ると述べ、郡市会長らに協力を呼び掛けた。

続いて羽根常務理事が、愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座・嶋崎義浩教授による後期高齢者歯科健診の分析結果をもとに、同事業の意義について改めて解説した。ポイントとして、▽

毎年歯科健診を受けることが口腔機能の維持につながり、総医療費の減少効果が期待できる▽対象が75歳・80歳のみでは口腔機能の低下を初期段階から捉えるのが難しい▽医科の健診と比較すると対象年齢の拡大が受診率の向上につながる可能性がある一等を挙げ、市町の首長や担当者への働き掛けの際に参考とするよう求めた。

#### 平成29年度事業計画について

29年度事業計画案は、昨年12月の第5回郡市会長会議でも素案として紹介されたが、いくつかの事業について追加説明が行われた。「三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー事業」は、今年度と同様に実施できる見込み。継続雇用の場合も手続きが必要になる点は注意が必要とのこと。後期高齢者歯科健診についても同様の内容で実施する予定で、4月に郡市会の担当者への説明を行う。歯科助手講習会は例年同様、全4回の日程で実施する。役員名簿は2年ぶりに、会員名簿は4年ぶりに更新する。5月には全会員を対象とした社保講習会を開催する。5月25日(木)・28日(日)の2日間を設定し所属郡市会により日程を振り分ける。6月末の役員改選後には、新たに委嘱された委員を招集しての全体委員会(7/13)、第14回臨時時代議員会(7/27)、県歯・郡市歯役員連絡協議会(8/31)が予定されている。さらに、全国的な事業としては第67回全国学校歯科医協議会(11/16)の三重県開催が決まっている。

#### 郡市会長からの提案事項について



田口会長（伊勢）から、介護付き有料老人ホ

ームとサービス付き高齢者向け住宅の複合施設の運営者から、訪問歯科診療の仲介についての依頼を受けたことが報告された。当初は医療機関側に診療報酬の2割に相当する施設使用料負担を求める内容であったため、保険医療機関及び保険医療養担当規則の禁止行為に当たる可能性があることを指摘したところ、その条件は撤回されたとのこと。

これに対して、大杉副会長が療養担当規則の「経済上の利益の提供による誘因の禁止」について、26年7月に発出された「疑義解釈(その8)」をもとに解説。各郡市会長には同様の事例の有無等が問われたが、特段のトラブル等の報告はなかった。松阪地区からは、介護施設での無料歯科健診を歯科医師会として実施する等、積極的にネットワーク作りに関与していることが報告された。



さらに長井会長（松阪）からは、三重県・鈴木知事や衆議院・田村憲久議員らが、学校保健統計等で三重県内の子どもたちのむし歯の割合が全国平均を上回る状況が続いていることを憂慮している旨が報告された。これを受けて、関係機関と協議を進めたところ、30年度から松阪市内の小中学校でのフッ化物洗口実施が実現する見込みが立ったとのこと。こうした歯科保健関連事業の実施には「歯と口腔の健康推進条例」等の存在も大きな下支えになっていることを強調しつつ、県下各地区でも同様の取組みが進むことに期待を寄せた。

(広報情報委員・廣田好昭 記)

平成28年度

March

## 第12回理事会

平成29年3月2日(木)

三重県歯科医師会館

## 代議員会に向け予算案等を決定

3月2日(木)、平成28年度第12回理事会が開かれた。田所会長は2月に開かれた都道府県会長会議について報告し、日歯・堀会長が示した「28課題への取組み」について紹介。その他、日歯関連では、稲本専務理事から第4回災害歯科保健医療連絡協議会について、太田常務理事から第2回税務・青色申告委員会について、蛭川理事から第4回がん診療医科歯科連携推進協議会について、桑名理事から歯科衛生士復職支援対策連絡協議会についてそれぞれ報告があった。議事では、23日(木)に開かれる第12回臨時代議員会に上程する29年度事業計画案及び予算案等の議案を決定。また、この日の午後4時に次期三重県歯会長予備選挙の立候補届け出が締め切られたが、定数を超えなかったため、現職の田所 泰会長が予備選挙当選人に決定した。6月の定時代議員会後に開かれる理事会で正式に会長に就任する予定。

## 委員会事業等報告

## ●社会保障委員会



【事業活動】第13回社会保険疑義事項検討会議(2/2)、郡市会社保講習会(鈴鹿2/16、津2/23、伊賀2/26)、指定更新時集団指導(2/23)  
【報告事項】社保通知No.9「疑義解釈(その9)」及びNo.10「平成28年度診療報酬改定において経過措置を設けた施設基準の取扱い」の送付、協会けんぽのポスター【協議事項】会員向け「介護保険請求のポイント」の作成

## ●医療管理委員会

【事業活動】郡市会医療管理講習会(津、2/23)  
【出席会議】三重HIV感染症講演会(2/2)、平

成28年度第1回三重県医療審議会救急医療部会(2/7)、平成28年度三重県医療事故調査等支援団体連絡協議会(2/9)、歯科衛生士復職支援対策連絡協議会(日歯等、2/22)  
【報告事項】平成29年度歯科助手講習会の案内、「平成28年分所得税青色申告決算書」の調査(日歯)、歯科相談(1件)  
【協議事項】Yahoo!及びGoogleのディスプレイ広告、歯科衛生士養成校入学時アンケート



## ●学術委員会

【事業活動】第2回学術研修会、第2回学術委員会(2/5)  
【出席会議】第4回がん診療医科歯



科連携推進協議会（日歯、2/8）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（県歯HP）

### ●公衆衛生委員会



【事業活動】認知症対応力向上セミナー（鈴鹿2/4、亀山2/16、尾鷲2/18）、児童相談所一時保護所入所者に対する歯科健診・歯科保健指導（2/16）【出席会議】第3回三重県在宅医療推進懇話会（2/6）、日本学校歯科医会第2回議事運営特別委員会（2/7）、第8回みえ歯ートネット研修会、平成28年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会（2/9）、平成28年度三重県介護予防市町支援委員会（2/10）、日本学校歯科医会平成28年度加盟団体長会（2/15）、学校歯科保健先進地視察研修（2/16）、学校歯科医生涯研修制度平成28年度専門研修（2/19）、公衆衛生事業打合せ、三重県学校保健会理事会（3/2）【報告事項】みえ歯ートネット研修会参

### その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 第24回中規模県歯科医師会連合会（2/23）
3. 平成28年度新入会員講習会について

### 議題

- 第1号：第12回臨時代議員会の招集並びに附議事項に関する件
- 第2号：定款第12条に該当する退会（みなし退会）通知（3/31付）の送付について
- 第3号：終身会員の承認について
- 第4号：互助会費未納者に対する退会通知（3/31付）の送付について
- 第5号：事務局職員の採用について（4/1付）

加者数、「みえ歯ートネットアンケート結果」冊子作成(案)、『ママごはん』テーマ（次年度以降）、学校歯科保健先進地視察研修参加者アンケート、平成29年度後期高齢者歯科健診事業、がん診療医科歯科連携登録ステッカー、地域包括ケア報告会報告資料（3/5）【協議事項】『ママごはん』4月号原稿、第2回三重県小児在宅実技講習会（7/9）、県立高等学校の「学校歯科健診結果のお知らせ」（県教育委員会）

### ●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』（2/10放送）【報告事項】平成29年度『三歯会報』広告協賛申込み状況、会員名簿確認依頼・役員名簿広告協賛依頼、平成28年度後期高齢者歯科健診分析結果【協議事項】『日歯広報』『都道府県通信』

### ●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況（2/28現在）、SECOM安否確認訓練の実施について（4/3）、第4回災害歯科保健医療連絡協議会（日歯、2/15）

### ●日歯委員会報告

【税務・青色申告委員会】第2回税務・青色申告委員会（2/8）【医療管理委員会】歯科衛生士復職支援対策連絡協議会（2/22）

### 協議事項

1. 平成29年度事業実施内容（委員会別）
2. 平成29年度年間行事計画予定
3. 後期高齢者歯科健診について

## 個人契約の生命保険金等を受け取った場合の課税関係

Q：生命保険契約による保険金の課税関係を教えてください。

A：個人の生命保険契約及び損害保険契約に基づく保険金・給付金（以下「保険金等」といいます）の課税関係は保険料の負担者、被保険者、保険金等の受取人が誰であるかにより所得税（非課税所得又は一時所得）、相続税、贈与税の対象となります。保険金等の受取人の課税関係の概要を図解しますと次のようになります。

保険契約等関係者				保険事故等別の受取人の課税関係		
保険料の負担者	被保険者	保険金等受取人		手術、入院、傷害、障害等	死亡	満期
A	A	A	⇒	非課税	相続税	一時所得
A	A	B	⇒	親族は非課税 他は一時所得	相続税	贈与税
A	B	A	⇒	親族は非課税 他は一時所得	一時所得	一時所得
A	B	B	⇒	非課税	一時所得 贈与税	贈与税
A	B	C	⇒	親族は非課税 他は一時所得	贈与税	贈与税
A 1/2 C 1/2	A	B	⇒	親族は非課税 他は一時所得	相続税 贈与税	贈与税

(注) 1 保険料の負担者

保険契約では、保険契約者と保険料負担者が同一人物である場合が一般的です。

ただし、支払い能力がない専業主婦又は子供が保険契約者である場合に、実際はその保険料を父親が負担していることが見受けられます。この場合、受取保険金のうち実際の保険料の負担に対応する課税関係が生じます。

2 保険金等の受取人

保険金受取人は、保険契約により指定された者が受取人とされます。指定受取人がいない場合は、保険約款等の定めるところにより受取人が決まります。

3 身体の傷害又は疾病等による保険金等の課税関係

個人の生命保険契約及び損害保険契約に基づく保険金等で、身体の傷害、疾病、入院等（以下「傷害等」といいます）に基因して支払いを受ける保険金等は非課税です。また、身体の傷害等に基因して支払われる保険金等を年金の形で受けるのも非課税です。また、保険金等を受ける者と身体に傷害等を受けた者とが異なる場合であっても、その支払いを受ける者が、その身体に傷害等を受けた者の配偶者若しくは直系血族又は生計を一にしているその他の親族であるときは、その保険金等についても非課税とされています。

なお、支払った医療費の補てん金として受け取るこれらの保険金等は、支払った医療費から控除することになっています。



## 2月・3月会務日誌

## Association Diary

## 2月

- |   |  |
|---|--|
| <p>1日 三重県保険者協議会に田所会長出席<br/>日本歯科医師会第2回医療管理委員会に桑名理事出席</p> <p>2日 第11回理事会、第13回社会保険疑義事項検討会議開催<br/>伊勢地区歯科医師会、伊賀歯科医師会「認知症対応力向上セミナー」で羽根常務理事講演<br/>学校保健総合支援事業「歯と口の健康づくり」に関する講演会で伊東理事講演<br/>三重HIV感染症講演会に早川副会長、桑名理事、伊藤理事出席</p> <p>4日 鈴鹿歯科医師会「認知症対応力向上セミナー」で羽根常務理事講演</p> <p>5日 平成28年度第2回学術研修会、第2回学術委員会開催</p> <p>6日 平成28年度第3回三重県在宅医療推進懇話会に羽根常務理事出席</p> <p>7日 日本学校歯科医会第2回議事運営特別委員会に中井副会長出席<br/>平成28年度第3回三重県後期高齢者医療広域連合運営協議会に大杉副会長出席<br/>平成28年度第1回三重県医療審議会救急医療部会に早川副会長出席</p> <p>8日 日本歯科医師会第2回税務・青色申告委員会に太田常務理事出席<br/>日本歯科医師会第4回がん診療医科歯科連携推進協議会に蛭川理事出席</p> <p>9日 第8回みえ歯ートネット研修会開催<br/>平成28年度三重県医療事故調査等支援団体連絡協議会に田所会長、桑名理事出席</p> | <p>平成28年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会に羽根常務理事出席</p> <p>10日 平成28年度三重県介護予防市町支援委員会に羽根常務理事出席</p> <p>15日 日本学校歯科医会平成28年度加盟団体長会に中井副会長出席<br/>日本歯科医師会第4回災害歯科保健医療連絡協議会に稲本専務理事出席</p> <p>16日 平成28年度学校歯科保健先進地視察研修開催<br/>鈴鹿歯科医師会講習会に田所会長、稲本専務理事出席<br/>鈴鹿歯科医師会社保講習会に大杉副会長、川瀬理事出席<br/>亀山歯科医師会「認知症対応力向上セミナー」で羽根常務理事講演</p> <p>17日 平成28年度第2回三重県がん対策推進協議会に田所会長出席</p> <p>18日 尾鷲歯科医師会「認知症対応力向上セミナー」で羽根常務理事講演</p> <p>19日 医療法人桜木記念病院創立百二十五周年記念式典に田所会長出席<br/>学校歯科医生涯研修制度平成28年度専門研修が東京都で開催され橋本理事出席</p> <p>22日 日本歯科医師会歯科衛生士復職支援対策連絡協議会に桑名理事出席</p> <p>23日 第24回中規模県歯科医師会連合会が東京都で開催され田所会長、稲本専務理事出席</p> <p>24日 第123回都道府県会長会議に田所会長出席</p> <p>26日 第6回郡市会長会議開催<br/>伊賀歯科医師会社保講習会に大杉副会長、</p> |
|---|--|



井上理事出席  
27日 平成28年度第4回三重県准看護師試験委員

会に福森理事出席  
28日 常務理事会開催

## 3月

2日 第12回理事会、第14回社会保険疑義事項検討会議開催  
三重県学校保健会理事会に羽根常務理事出席

5日 平成28年度地域包括ケア報告会に田所会長、中井副会長、羽根常務理事、福森理事、橋本理事、伊東理事出席  
平成28年度三重県医療安全研修会に早川副会長、伊藤理事出席  
三重県小児保健協会理事会に羽根常務理事出席

7日 三重県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会に稲本専務理事出席

8日 伊勢保健衛生専門学校卒業証書授与式に田所会長出席

9日 日本歯科医師会第184回臨時時代議員会に田所会長、稲本専務理事出席  
県立公衆衛生学院卒業証書授与式に大杉副会長出席  
ユマニテク医療福祉大学卒業証書授与式に早川副会長出席  
松阪地区歯科医師会社保講習会に大杉副会長、浜瀬理事出席

10日 三重県救急医療情報センター第10回定時理事会に早川副会長出席

11日 第4回社会保障委員会開催

12日 平成28年度新入会員講習会、議事運営特別委員会、平成28年度第2回医療管理講習会、第2回広報情報委員会、東海信越地区歯科医師会医療管理担当者連絡協議会開催  
みえ・医療と健康を守る会に田所会長出席

13日 第14回三重県スポーツ人の集いに大杉副会

長、蛭川理事出席  
第3回三重県国民健康保険運営協議会準備会に稲本専務理事出席

14日 第9回三重県経済懇談会に田所会長出席  
平成28年度三重県公衆衛生審議会に中井副会長出席  
平成28年度第1回三重県医療審議会災害医療対策部会に稲本専務理事出席

15日 日本学校歯科医会第3回議事運営特別委員会に中井副会長出席  
平成28年度三重県後発医薬品適正使用協議会に早川副会長出席

16日 平成28年度郡市歯科医師会医療管理担当者連絡協議会開催  
伊勢志摩サミット三重県民会議第4回総会、平成28年度第2回三重県医療審議会に田所会長出席  
桑員歯科医師会社保講習会に大杉副会長、川瀬理事出席  
伊勢地区歯科医師会「学校歯科医研修会」に羽根常務理事出席

17日 平成28年度第2回みえメディカルバレー推進代表者会議及びみえライフインノベーション総合特区地域協議会、平成28年度第2回三重県地域医療介護総合確保懇話会に田所会長出席

21日 平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県実行委員会第2回総会に田所会長出席

22日 日本学校歯科医会第91回臨時総会に中井副会長出席

23日 第12回臨時時代議員会開催  
平成28年度三重県防災会議に田所会長出席





三重県学校保健会第2回評議員会に伊東理事出席  
 平成28年度第2回三重県医療安全推進協議会に桑名理事出席  
 24日 平成28年度三重県死因究明等推進協議会に

熊谷理事出席  
 27日 第76回国民体育大会三重県準備委員会第9回常任委員会に田所会長出席  
 29日 公益財団法人8020推進財団第12回評議員会に田所会長出席

## 会員消息 Member's News

本会会員数 (4月1日現在)	
正会員第1種 (一般)	695名
正会員第2種 (勤務)	26名
正会員終身	132名
準会員第3種 (法人)	8名
準会員第4種 (直属)	2名
長期の疾病等の会員	2名
計	865名

日歯会員数 65,089名 (2月28日現在)

### 新入会員



おぎた まさき  
 荻田匡樹先生 (4. 1付)  
 診 桑名市東方掛越570-1  
 (医) おぎた小児歯科  
 電話 0594-23-3588  
 F A X 0594-23-3888  
 (桑員)



やまがりょうすけ  
 山家良輔先生 (4. 1付)  
 診 桑名市大福宮東337-1  
 やまが歯科・こども歯科  
 クリニック  
 電話 0594-24-8020  
 F A X 0594-24-8022  
 (桑員)



いながきよしのり  
 稲垣慶則先生 (4. 1付)  
 診 三重郡菰野町菰野986-7  
 たつみの歯科クリニック  
 電話 059-393-1888  
 F A X 同上  
 (四日市)



かさはりょうすけ  
 笠原亮輔先生 (4. 1付)  
 診 津市羽所町546-1  
 笠原歯科  
 電話 059-225-2535  
 F A X 同上  
 (津)



たどころ すずむ  
 田所晋先生 (4. 1付)  
 診 伊勢市曾祢1-6-3  
 田所歯科  
 電話 0596-28-2985  
 (伊勢)



<sup>にしい けい</sup>  
西井 慶先生（4. 1付）  
診伊勢市小俣町本町  
341-237  
にしい歯科クリニック  
電話 0596-72-8800  
F A X 0596-72-8801  
（伊勢）



<sup>にしい こうすけ</sup>  
西井浩介先生（4. 1付）  
診鳥羽市鳥羽5-4-10  
西井歯科  
電話 0599-26-4500  
F A X 0599-21-1234  
（鳥羽志摩）



<sup>てらもと ゆうじ</sup>  
寺本祐二先生（4. 1付）  
診鳥羽市鳥羽3-10-3  
寺本歯科医院  
電話 0599-25-2539  
（鳥羽志摩）



<sup>ひらざわ まさゆき</sup>  
平澤正之先生（4. 1付）  
診名張市元町430  
平沢歯科診療所  
電話 0595-63-0209  
F A X 0595-48-7335  
（伊賀）

診療所開設

山口晋司先生（津）  
津市広明町371  
山口歯科  
電話 059-226-8949

診療所名変更

山下知彦先生（四日市）  
山下歯科  
山下直彦先生（四日市）  
山下矯正歯科  
橋本 敏先生（津）  
山口歯科

謹んでおくやみ申し上げます



金子 淳先生（津）  
去る2月23日、お亡くなり  
になりました。  
享年53歳



寺本康郎先生（鳥羽志摩）  
去る3月5日、お亡くなり  
になりました。  
享年84歳



安田孫九郎先生（鈴鹿）  
去る3月17日、お亡くなり  
になりました。  
享年93歳



### 高橋 哲先生（四日市）

去る3月27日、お亡くなりになりました。

享年68歳

### ※お詫びと訂正

三歯会報2017年2・3月号、29ページ、おくやみで掲載させていただきました北村 喬先生の郡市会名に誤りがございました。正しくは“四日市”となります。ここにお詫びして訂正申し上げます。

## 新入会員プロフィール

# Rookie's Profile

### おぎた まさき 荻田匡樹先生（桑員）

#### 1. 学歴

高校 三重県立桑名西高等学校

大学 朝日大学（平成16年度卒業）

#### 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成17年4月 愛知学院大学歯学部附属病院

平成22年4月 医療法人医仁会さくら病院  
歯科口腔外科

平成23年4月 愛知学院大学歯学部  
顎口腔外科学講座

平成24年4月 医療法人せんのんじ小児歯科

平成24年11月 医療法人おぎた小児歯科

#### 3. メッセージ

この度、入会させていただきました荻田匡樹です。

私は大学卒業後、愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座に入局し、大学院4年間と卒後2年間口腔外科を学びました。ここで全身管

理の大切さを学び、今も日々の診療に役立っています。

現在は実家を継いで小児歯科を専門に診療に当たっています。日々の診療で思うことは、意外とむし歯は減っていないということです。多くの小児患者を診ていく中で、紹介されて来院されたり、他院で治療ができないために来院しましたといった患者さんを多く見かけます。そしてよくよく口の中を診てみると、見逃されたむし歯を発見することがほとんどです。

このような現状を踏まえて、私は小さな子どもだから治療ができないとか泣くから治療ができないといった先入観を持たず、全ての患者さんの健全な発育を手助けできるドクターを目指して日々努力していきたいと思えます。



やまが りょうすけ

## 山家良輔先生（桑員）

## 1. 学歴

高校 私立暁高等学校

大学 愛知学院大学（平成21年度卒業）

## 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成22年 4月 愛知学院大学歯学部附属病院

平成23年 4月 医療法人至誠会二村医院

## 3. メッセージ

この度、入会させていただくことになりました山家良輔と申します。4月末に桑名市にて開院の予定です。

学生時代にはバレーボール部に所属し、組織力の大切さを学びました。培った組織力で歯科医師会での役割を果たしていきたいと思っています。

また、昨年は介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取得することができましたので、在宅医療にも力を入れ、地域医療に貢献したいと思っています。

何卒、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

いながきよしのり

## 稲垣慶則先生（四日市）

## 1. 学歴

高校 三重県立四日市高等学校

大学 朝日大学（平成22年度卒業）

## 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成23年 4月 朝日大学臨床研修

平成24年 4月 朝日大学歯学部麻酔科

平成25年 4月 あおぞら歯科（愛知県）

平成27年 4月 ういち歯科（三重県）

## 3. メッセージ

はじめまして。この度、入会させていただくことになりました稲垣慶則です。出身は四日市市です。

会員として会の活動や役割をたくさんの人に知っていただき、お口や歯に興味を持ってもらい、さらに健康になってもらいたいです。

また、地域の歯科医療に貢献できるような歯科医師を目指していきたいと考えております。地域の皆様が求める歯科医療も様々ですので十分に説明や同意を得たうえで、それに対応していけるような歯科医院にしていきたいです。

未熟な若輩者ではありますが、今後におきましては皆様の御指導を仰ぐばかりだと存じます。よろしくお願い致します。

かさほらりょうすけ

## 笠原亮輔先生（津）

## 1. 学歴

高校 三重県立津高等学校

大学 愛知学院大学（平成14年度卒業）

## 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成15年 4月 前岡歯科医院

平成19年 4月 笠原歯科

平成19年 4月 サトウ歯科

平成21年 4月 すまいる歯科

## 3. メッセージ

初めまして。笠原亮輔と申します。





幼い頃から、父が生真面目に診療する姿や、母が受付で患者さんに明るく対応する姿を見てきました。気が付けば、自然と歯科医師を目指していました。

歯科医師となり14年が経ちますが、患者さんが喜ぶ姿を直に見られる、この職業に就けたことに感謝しています。

父と母が築いてきたように、コミュニケーションを大切に、地域の方々に信頼される歯科医院を作っていきたいと思っています。

至らない所が多々あるかと思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



たどころ すすむ  
田所 晋先生（伊勢）

1. 学歴

高校 三重県立伊勢高等学校

大学 鶴見大学（平成19年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成20年 4月 鶴見大学口腔内科学講座

平成29年 4月 田所歯科

3. メッセージ

この度、入会させていただきました田所晋と申します。

大学卒業後、母校の口腔内科学講座に入局し、博士課程修了後も同講座にお世話になり、

9年間在籍しました。臨床より研究に興味を持ち、PS細胞を用いた再生医療や皮膚の創傷治癒等の研究をしてきました。

この春に地元に戻り、父とともに田所歯科で診療をしています。超高齢社会に突入した伊勢市で訪問診療に力を入れながら、地域医療に貢献していきたいと思っています。

まだまだ未熟なため諸先輩方にはご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、一生懸命頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

にししい けい  
西井 慶先生（伊勢）

1. 学歴

高校 私立三重高等学校

大学 朝日大学（平成20年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成23年 4月 徳島大学総合歯科診療部

平成24年 4月 医療法人社団厚誠会

平成24年 8月 西井歯科

3. メッセージ

この度、入会させていただきます西井慶と申します。

歯科医師としての初心である「患者さんのために」という気持ちを常に持ち、診療を



行ってきたいと思います。歯科医師として、少しでも三重県のために、地域のために貢献できるように努力していきます。

まだまだ未熟な所も多いため、諸先輩方に

迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、何卒、御指導御鞭撻の程、よろしくお願い致します。

にしい こうすけ

西井浩介先生（鳥羽志摩）

### 1. 学歴

高校 三重県立伊勢高等学校

大学 昭和大学（平成18年度卒業）

### 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成19年4月 昭和大学臨床研修

平成20年4月 昭和大学歯科病院歯周病科

平成26年4月 山田歯科クリニック

平成28年10月 西井歯科

### 3. メッセージ

この度、入会させていただくことになりました西井浩介と申します。

15年ぶりに地元へ戻り、右も左も分からない状態ですが、少しでも地域の方々のニーズに添えていけるよう精一杯努めていきたいと思っております。

未熟者ですが、会員として少しでもお役に立ちたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

てらもと ゆうじ

寺本祐二先生（鳥羽志摩）

### 1. 学歴

高校 三重県立宇治山田商業高等学校

大学 松本歯科大学（平成17年度卒業）

### 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成18年4月 松本歯科大学病院  
研修歯科医

平成19年4月 松本歯科大学  
口腔顎顔面外科学講座

平成23年4月 信州大学医学部  
歯科口腔外科学講座

平成26年10月 信州大学医学部  
麻酔蘇生学講座

平成28年4月 三重大学医学部  
歯科口腔外科学講座

### 3. メッセージ

この度、入会しました寺本祐二と申します。

これまで祖父、父が会員として所属させていただき、鳥羽の地で歯科医療を行ってきました。祖父が三重県歯の初代会長・直邨善五郎先生の下で末弟子として従事し、鳥羽で開業したのが始まりで、父がその志を受け継ぎ、90年になります。

この度、父の他界に伴いその志を継承するべくこの地で開業医としてやっていきたいと考えました。熱き心を持って取り組んでいきたいと思っております。先生方の御指導を賜れば幸いに存じます。

高校は山商の硬式野球部に所属し、歯学部に入る前に日本福祉大学で4年間、編入学した松本歯科大学で5年間、硬式野球をしてきました。人生の大半を野球をして過ごしてきたことになります。



## Mie Dental Association

その後は大学病院に勤務し歯科医師として研鑽を積みました。病診連携と医科歯科連携に重きを置いて活動してきましたので、これ

からは開業医として、また歯科医師会会員として地域医療の発展に尽くす所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

ひらざわまさゆき  
平澤正之先生（伊賀）

### 1. 学歴

高校 私立日生学園第一高等学校  
大学 奥羽大学歯学部（平成17年度卒業）

### 2. 卒業後の研修先・勤務先

平成21年4月 神奈川歯科大学  
平成22年4月 小幡歯科医院  
平成27年4月 平沢歯科診療所

### 3. メッセージ

この度、入会させていただきました。  
会員の方々の活躍を拝見し、浅学非才の私はただ驚いております。諸先輩方の長年のご活躍に敬意を表すとともに、私としても健康に留意しながら活動していきたいと思ひます。

趣味は子守とオートバイです。

入会して身の引き締まる思ひがあります。先輩の方々のご指導、よろしくお願ひいたします。



## 障害者歯科センター診療状況

### 2月

診療日	8日
診療担当者	常勤1名、非常勤5名 内訳・会員2名、大学3名
延患者数	130名

### 3月

診療日	8日
診療担当者	常勤1名、非常勤5名 内訳・会員2名、大学3名
延患者数	143名



## 告知板

## Information

## 第37回全日本歯科医師テニス大会のご案内

## I 大会要項

- (1) 日 時 平成29年10月7日(土)、8日(日)  
 受付 8:00～ 開会式 8:30～ 試合開始 9:00～  
 ※ 少雨決行、また試合形式を変更することがある
- (2) 会 場 マリンテニスパーク北村 砂入り人工芝20面(屋外)  
 〒551-0032 大阪市大正区北村3-3-70/TEL 06-6555-6161
- (3) 試合方式 ラウンドロビン方式による予選リーグ戦と決勝トーナメント  
 6ゲーム先取(5-5 12Pタイブレーク) ノーアドバンテージ  
 但し、エントリー数により変更あり
- (4) 種 目 7日(土) 男子ダブルス(45歳以上・65歳以上・75歳以上)  
 ミックス(一般・110歳以上)  
 8日(日) 男子ダブルス(一般・55歳以上・70歳以上)  
 女子ダブルス  
 ※ 両日とも1日1種目のみのエントリーとする
- (5) 参加資格 男子・女子ダブルス: ペアともに歯科医師  
 ミックスダブルス : 夫婦・家族ペアはいずれかが歯科医師  
 夫婦・家族以外の場合はともに歯科医師  
 ※ いずれの種目もペアのいずれかが日歯会員であること  
 ※ 但し、ミックスにエントリーした女子で、女子ダブルスにエントリーする場合は、  
 日歯会員の在否を問わない  
 ※ 年齢基準は平成29年12月31日時点での満年齢とする
- (6) 参加費 1ペア1種目につき20,000円

## II 懇親会

- (1) 日 時 10月7日(土) 18時頃～
- (2) 場 所 マリンテニスパーク北村2階カフェ(予定)
- (3) 会 費 5,000円程度

## III 大会事務局(問い合わせはできるだけメールでお願い致します)

〒572-0001 大阪府寝屋川市成田東町36-12 むらた歯科 村田浩之

TEL 072-835-1182/FAX 072-835-5018/PC Address den-den-mura-mura@miracle.ocn.ne.jp

## IV 参加申込

- (1) 締 切 平成29年5月31日(水)
- (2) 申込方法 大会ホームページ(<https://japandentaltennis.wixsite.com/osaka>)から申込用紙をダウンロードし、必要事項を記載の上、大会事務局あてFAXまたはメールで送信する





# 互助会の現況

## Mutual Aid Association

(29年 2月 1日～28日)

(29年 3月 1日～31日)

### 第1部 (疾病共済)

入会 0名 退会 1名 累計 732名

収入累計	192,335,808円	}	繰越	192,320,706円
			入金	15,102円

支出 1,380,000円

残 高	190,955,808円	}	定期	138,000,000円
			普通	52,955,808円
			国債	0円

療養給付：2名

死亡給付：1名

### 第1部 (疾病共済)

入会 0名 退会 21名 累計 711名

収入累計	191,324,808円	}	繰越	190,955,808円
			入金	369,000円

支出 0円

残 高	191,324,808円	}	定期	138,000,000円
			普通	53,324,808円
			国債	0円

療養給付：0名

死亡給付：0名

### 第2部 (火災・災害共済)

入会 0名 退会 1名 累計 739名

収入累計	162,702,940円	}	繰越	162,695,444円
			入金	7,496円

支出 0円

残 高	162,702,940円	}	定期	110,690,000円
			普通	52,012,940円

### 第2部 (火災・災害共済)

入会 0名 退会 21名 累計 718名

収入累計	162,744,161円	}	繰越	162,702,940円
			入金	41,221円

支出 0円

残 高	162,744,161円	}	定期	110,690,000円
			普通	52,054,161円

平成28年10月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)							
		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.7	662.3	1,122.3	1.7	653.5	1,143.0
	家族	1.5	618.7	930.1			
後期高齢者医療		—	—	—	1.9	703.0	1,303.2

平成28年11月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)							
		社会保険			国民保険		
		1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数	1件当 日数	1日当 点数	1件当 点数
一般	本人	1.7	661.6	1,111.3	1.8	658.1	1,166.1
	家族	1.5	617.5	937.7			
後期高齢者医療		—	—	—	1.9	706.9	1,328.3

## 第142回三齒国保組合通常組合会／保険料の改正案等を決議



2月26日(日)、三齒国保組合の第142回通常組合会が開かれた。武田理事長の挨拶の後、中井副理事長が平成28年度中間事業報告として、▽被保険者の異動状況▽保険給付状況▽療養給付状況—について説明した。

続いて議事に移り、第1号議案・29年度歳入歳出予算に関する件の議案説明では、29年度事業計画について詳述され、27年に成立した「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」により、給付費等に対する国庫補助が本組合では平成28年度より2%ずつ削減されるため、29年度は28%となることと、



前期高齢者納付金及び後期高齢者支援金としての国への拠出金についても今後さらなる負担が増えることを明示。そのうえで採決に移り、議案が承認された。

第2号議案・規約一部改正に関する件では、①保険料の基礎賦課額の引下げ（現賦課額2,700円から2,200円に）②後期高齢者支援金等賦課額の引上げ（現賦課額3,400円から3,600円に）③介護保険金賦課額の引上げ（現賦課額3,800円から4,000円に）—が承認され、第3号議案・29年度法令順守のための実践計画に関する件も賛成多数で可決された。

## 全歯連平成28年度第2回通常総会



3月1日(水)、都内アルカディア市ヶ谷で平成28年度第2回全国歯科医師国民健康保険組合連合会（全歯連）の通常総会が開かれ、三齒国保組合から武田理事長と中井副理事長が出席した。

山口誠一郎会長は冒頭の挨拶の中で、保険料収納率の高さ等を理由に歯科医師国保の存続の意義を強く訴えた。議事では、▽選挙規定の一部改正▽平成29年度事業計画▽同予算—等、全ての議案が可決承認された。

## 全協第68回通常総会



3月16日(木)、明治記念館で全国国民健康保険組合協会（全協）の第68回通常総会が開かれた。加盟している全国136組合のうち125組合が出席し、三齒国保組合からは武田理事長と前田理事が出席

した。真野 章会長は冒頭の挨拶の中で、国保組合へのがん検診補助が決定されたことを報告した他、全保険者の特定健診・保健指導の実施率を平成29年度実施分より公表することとなったため、各組合の保険者機能の充実を呼び掛けた。

来賓の挨拶の後、議事に移り、▽29年度事業計画▽29年度会費▽29年度一般会計収支予算▽29年度システム共同事業会計収支予算▽29年度高額医療費共同事業特別会計収支予算▽補欠役員の選任▽全国国民健康保険組合協会定款の一部改正一の7議案について審議され、全て可決された。

第69回通常総会は山形県が当番県となり、宮城県仙台市で開催される。

## 第91回三齒協同組合臨時総代会



3月23日(木)、三齒協同組合の第91回臨時総代会が開かれた。武田理事長は冒頭の挨拶の中で、歯科用金属の斡旋販売に関し、現金だけでなくカードでの決済も可能であることを報告。また、次年度の新規事業として、医療経営支援向け研修会の開催と家庭用常備薬等の斡旋販売を行うことを明らかにするとともに、継続事業であるグループ生命保険の新規加入に向けた手続き方法等につい



て説明した。

協同組合の28年度中間事業報告及び28年度労働保険事務組合中間事業報告、(株)エムディの29年度事業計画及び予算についての報告が行われた後、議事に移り、▽29年度事業計画▽29年度収支予算▽29年度労働保険事務組合収支予算一について審議され、いずれも全会一致で可決成立した。

# 国保組合の現況

平成28年12月／平成29年1月

## 保険給付状況

		28年12月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,934	51,846,880	36,688,736
	累計	32,542	440,288,709	310,829,364
療養費	当月分	117		468,777
	累計	926		3,400,726
高額療養費	当月分	20		671,103
	累計	269		26,387,182
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	6		2,520,000
	累計	39		16,364,000
葬祭費	当月分	1		100,000
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	2		3,300
傷病手当金	当月分	14		593,000
	累計	159		6,933,000

		29年1月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,625	44,101,906	31,416,035
	累計	36,167	484,390,615	342,245,399
療養費	当月分	91		374,523
	累計	1,017		3,775,249
高額療養費	当月分	31		2,785,393
	累計	300		29,172,575
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	—		—
	累計	39		16,364,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	2		3,300
傷病手当金	当月分	14		344,000
	累計	173		7,277,000

## 収支状況

		28年度29年1月累計
区分	金額	
歳入合計	1,113,251,971	
歳出合計	790,646,348	
収支差引残高	322,605,623	

		28年度29年2月累計
区分	金額	
歳入合計	1,205,706,852	
歳出合計	893,725,837	
収支差引残高	311,981,015	

## 被保険者異動状況

		29年2月28日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,714	△ 5	
家族	1,542	0	
計	4,256	△ 5	

		29年3月31日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,692	△ 22	
家族	1,538	△ 4	
計	4,230	△ 26	



## 編集後記

## Editor's Note

1年前から運動を兼ねてゴルフを始めました。初めてゴルフに関わったのは大学生の時。入学式直後の部活の勧誘で、「昼食を食べに行こう」と誘われてそのまま入部したのがきっかけでした。当時は今ほど熱心ではなく、友人からもらったクラブで練習場に行ったり、ショートコースを回ったりはしましたが、ラウンドしたのは卒業記念の一回だけ。社会人になってからも職場の上司やアルバイト先の先生と数回出かけましたが、練習する時間もなかったので、アドバイスしてもらいなが

らのプレーでした。

28年度から津歯科医師会のゴルフ部に誘っていただき、今はYouTubeの動画を参照しながら日々精進中です。月に一度ラウンドする機会があるので練習に対しても意欲的になります。先日は練習の甲斐あって、初めて100切りを達成することができました。今後も人生の趣味として長く楽しんでいきたいと思います。

(広報情報委員・佐藤文仁 記)

## 三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

## ●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

## ●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会  
 歯科医療技術者等無料職業紹介所  
 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2  
 TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

[検索](#) [三重県歯科医師会無料職業紹介所](#)

三重県歯科医師会会員の皆様へ

## 団体医師賠償責任保険のご案内

～歯科医院診療所の安定経営のために～



団体割引  
20%適用

弁護士費用  
訴訟費用も補償

※損保ジャパン日本興亜の  
事前の承認が必要です。

ご照会・ご連絡は

<取扱代理店>

株式会社エムディ (三重県歯科医師会館 1F)

〒514-0003 津市桜橋 2 丁目 120 番地の 2 TEL : 059-227-6489 FAX : 059-227-0510

<引受保険会社>

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三重支店 津支社

〒514-0004 津市栄町3-115 TEL : 059-226-3011 FAX : 059-228-4397

## 愛知県医療信用組合は、歯科医師のための 「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の「歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

### ● ご 預 金 ●

- ★市中銀行より利率の高い預金  
普通預金、積立預金、定期預金
- ★将来の貯蓄にメリット大 など
- ★キャッシュカードは全国の金融  
機関並びに大手コンビニATMで  
も引き出しできます

### ● ご 融 資 ●

- ★歯科医師会入会金ローン
- ★開業資金
- ★運転資金、設備資金
- ★自動車ローン
- ★後継者の学資ローン など

詳細はホームページを  
ご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<http://www.iryoushin.com/>



## 愛知県医療信用組合

〒460-0002  
名古屋市中区丸の内三丁目5番18号  
愛知県歯科医師会館6階

TEL : (052) 962-9569 FAX : (052) 951-8651

ともに  
地域の未来を  
切り拓く。

皆様の  
経営課題や悩みをともに考え  
事業の成長をサポートいたします。

キラリと光るあなたの銀行  
**第三銀行**




<http://www.daisanbank.co.jp>



# 貴金属リサイクルと産業廃物処理は、 エキスパートの相田化学におまかせください。

私たちはこれまで、歯科分野のソリューションで着実な実績と信頼を蓄積してまいりました。  
多くの経験により培った知識とノウハウを歯科の先生方にご提案いたします。  
歯科分野の諸問題は、エキスパートの相田化学にご相談ください。

相田化学の歯科営業体制は、  
リサイクル事業・クリーン事業・サポート事業の3事業で構成されています。

 <p><b>リサイクル事業</b> 貴金属スクラップの高精度な分析・精練</p> <p><b>分かりやすく信頼できる分析と報告システム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社工場にて分析から精練</li> <li>● 最新機器による高度な分析</li> <li>● お預かりから精算まで素早い対応</li> </ul>	 <p><b>クリーン事業</b> 感染性産業廃棄物・現像定着廃液、石膏などの回収</p> <p><b>感染性産業廃棄物は処理ルートの厳しい特別管理の産業廃棄物です</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療廃棄物の適正処理</li> <li>● 行政報告書等の作成</li> <li>● 処分業者の選定も厳密に行っております</li> </ul>	 <p><b>サポート事業</b> デンタルヘルスアソシエート</p> <p><b>先生方の学研活動をバックアップいたします</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スタディグループ、同窓会会合、各種理事会等の会場をご提供</li> <li>● 歯科医師会等で催される学術講演の講師手配のお手伝い</li> <li>● より質の高い診療技術のバックアップとして、定期コースもございます</li> </ul>
---	---	--



社団法人日本金地金流通協会正会員

**相田化学工業株式会社**  
名古屋営業所

〒485-0825 愛知県小牧市下末五反田458番 TEL.0568-42-6713 FAX.0568-42-6714

本社 東京都府中市南町6-36-2

支店/営業所/出張所

札幌、仙台、郡山、新潟、東京、神奈川、埼玉、千葉、甲府、静岡、長野、名古屋、大阪、広島、九州

## いつも貴金属リサイクルの 最先端に私たちはいます。



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

横浜金属商事株式会社

本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 映の原工業団地内

Tel:042-774-5481 Fax:042-773-7266

本社・仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・函館(営)・釧路(営)・北陸(営)・四国(営)



**0120-14-4580**

ホームページ <http://www.yk-metal.com/>

### 純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで  
純金積立をしませんか?  
(横浜金属株式会社運用)



### ジュエリー買取り

貴金属精練グループだからこそ  
どこよりも高値買取致します。

### 歯科材リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材  
スクラップを受託精練回収及び買取  
致します。

#### インターネット特典

ホームページをご覧になられたお客様

**精練基本料金を  
無料サービス**

納期  
20日以内の  
お支払い

- 一般社団法人 日本経済団体連合会会員(横浜金属(株))
- 一般社団法人 日本金地金流通協会正会員(横浜金属(株))
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- (株)東京商品取引所 銀地金受渡共用品指定ブランド
- (株)東京商品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO 9001 認証登録(横浜金属(株))
- ISO 14001 認証登録  
(横浜金属商事(株)環境リサイクル部仙台事業所)

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。





SOMPO  
ホールディングス  
保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜の三重県オリジナル自動車保険

安心・安全のお参りつき

# 『THE クルマの保険 三重』



赤目四十八滝 (写真提供:赤目四十八滝渓谷保勝会)



四日市工場夜景 (写真提供:四日市観光協会)



伊勢神宮 (写真提供:神宮司庁)



賢島 (写真提供:伊勢志摩国立公園協会)

損保ジャパン日本興亜は、三重県と「地域産業の支援等に関する包括協定」を締結し、三重県民の皆さまの安心・安全なくらしの実現に向け、協働した取り組みを行っています。

## 特長① 安心補償

地震・噴火・津波  
車両全損時一時金特約が付帯されます！

## 特長② 交通安全

安心・安全のお参りつき！ 全国初！

## 特長③ 社会貢献

三重県の災害ボランティア活動の  
支援に貢献できます！ 全国初！

【引受保険会社】



SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、挑む。  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町3-115  
損保ジャパン日本興亜ビル6F TEL 059-226-3011  
公式ウェブサイト <http://www.sjnk.co.jp/>

- ★本取組みは2016年12月の発売から1年間を実施期間とします。以降はこの商品の普及状況を勘案して実施の継続を検討します。また、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承をお願いします。
- ★「THE クルマの保険 三重」は、「個人用自動車保険」または「一般自動車保険」に「地震・噴火・津波 車両全損時一時金特約」を付帯したプランのペットネームです。
- ★「THE クルマの保険 三重」はご加入者さまの交通安全を祈願する商品ですが、「THE クルマの保険 三重」にご加入された皆さまに事故が発生しないことをお約束するものではありません。
- ★損保ジャパン日本興亜は、特定の政治や宗教団体とは無関係であり、信仰等をお勧めすることは一切ありません。

会員好評受付中!

# mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : [mint@mint.or.jp](mailto:mint@mint.or.jp)

Thinking ahead. Focused on life.



# Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80 $\mu$ mのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。

さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

## Debut



発売 株式会社 **モリタ** 大阪本社: 大阪府吹田市豊水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161  
お問合せ、お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0600-222-8020 (フリーコール) 製造販売・製造 株式会社 **モリタ製作所** 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075-611-2141  
販売名: ベラビュー X800 標準価格: 9,600,000円〜 (消費税別) 2016年10月21日現在 製的名称: デジタル式歯科用パノラマ 歯周撮影X線診断装置  
機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACBZX00008000  
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください: [http://www.dental-plaza.com/article/veraview\\_x800](http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800)